

日本消防



- 令和5年度 事業計画
- ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中！
〈前田一浩消防庁長官 出演〉

4
2023

□ 絵 令和4年度 消防功労者消防庁長官表彰

巻頭言 「消防団 地域の安全安心の要！活性化への取り組み」
 公益財団法人 群馬県消防協会 会長 山本 一太 1

令和5年度事業計画 (公財)日本消防協会 3

日消の動き 消防団員増員確保をめざして (公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文 8

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 前田一浩消防庁長官 出演 (公財)日本消防協会 9

特別表彰「まとい」を受賞して 「地域と密着し寄り添い守る」
 北海道岩見沢地区消防事務組合 岩見沢消防団 団長 仁志 正樹 11

東西南北 (栃木県) 「歴史と陶器のまち益子を守る」 益子町消防団 団長 法師人 和哉 13

東西南北 (京都府) 「市民の安全・安心を守るという使命のもと」
 亀岡市消防団 団長 田井 浩二 15

東西南北 (宮崎県) 「自分たちのまちは、自分たちで守る」 新富町消防団 団長 宮脇 国宏 17

シンフォニー (山形県) これから女性消防隊の役割を考える～魅力ある活動と人材確保～
 山形市消防団 女性消防隊 部長 鈴木 美香 19

南国市消防団災害活動用重機を導入しました 高知県 南国市消防団 21

令和4年度消防功労者消防庁長官表彰 総務省消防庁 22

全国消防団応援の店について (公財)日本消防協会 43

消防育英会支援自動販売機の設置状況について (公財)消防育英会 44

うちの名物団員 山形県、群馬県、茨城県、栃木県、京都府、徳島県 45

消防団の広場(徳島県) 「一人でも多くの命を守りたい」 鳴門市消防団 副団長 小黒 孝義 47

編集後記

表紙写真説明

「アカウミガメが帰る町」

宮崎県新富町は太平洋に面しており、約8kmに及ぶ富田浜には、毎年産卵のために数百頭近くのアカウミガメが上陸する日本有数の産卵地となっています。夏には孵化した子ガメが海に帰っていきます。

写真提供：©zeroworks (新富町観光ガイドブック引用)

令和4年度 消防功勞者消防庁長官表彰



巻頭言

「消防団 地域の安全安心の要！ 活性化への取り組み」

公益財団法人 群馬県消防協会 会長 山本 一太



近年、全国各地で、東日本大震災をはじめとする大地震、令和元年台風第15号、第19号や線状降水帯による風水害、御嶽山、草津白根山などの噴火災害など、大きな災害が多発しています。群馬県では災害から住民を守るため、「災害レジリエンスNo.1」の実現を目指し、県土の強靱化や復元力の強化に加え、ひとたび災害が発生した際の避難所運営の充実強化などのソフト面への対応も進めているところです。(公財)群馬県消防協会としても、こうした県の取り組みと足並みを揃え、住民の安全、安心向上に努めるとともに、防災の中心である市町村消防との連携を図っています。

今年には消防組織法が施行され、現在の自治体消防が確立してから75年という節目の年を迎えました。

この間、消防団は、自らの街は自ら守るという郷土愛護の精神の下、消火活動は元より、地震、火山、台風、豪雨など全国各地で発生する災害に際し、常に住民の身近において消防活動に従事し、市町村や常備消防と協力し住民の安全、安心の確保のため、日夜、業務に邁進して参りました。

一方で、この10年間に団員数は全国では約11%、本県においても約7%減少しており、団員の確保は全国共通の課題となっています。また、若年層の割合が減少するなど団員が高齢化している現状の解消も課題です。

かつては、地域住民の多くが自発的に入団し活動していた消防団ですが、更なる減少により最も懸念されることは、地域防災力の低下です。

大規模災害時には、緊急消防援助隊を始め、自衛隊の災害派遣、知事会による支援など、広域応援体制が充実されているところです。しかしながら、発災直後から状況によって数日間は、地域住民の自助、共助により対応しなければならないことが、これまでの災害からも明かです。

東日本大震災や近年多発する豪雨災害等において、消防団員の方々の献身的な活動が迅速な救助の一翼を担うとともに、避難誘導等により住民の支えとなっていたことから、災害が多発化、激甚化している昨今、消防団員の確保、消防団の活性化は必要不可欠です。

消防団員の減少には、社会環境や就労構造の変化など、様々な要因があります。具体的には、中山間地域では高齢化と人口減少が進展していること、都市部においては地域の交流が希薄化しており、極端な場合は消防団の存在すら知らない住民さえいること、消防団は訓練が厳しく上下関係が厳格などのイメージが定着していることなどが挙げられます。地域毎に多少の差異はありますが、各消防団とも対策に苦慮しているのが実情です。

(公財)日本消防協会や総務省消防庁においても各種施策を実行しており、昨年度には全国消防操法大会の実技の一部が見直され、操法の意義を踏まえた上で団員の負担軽減を図るなど、全国的な課題への改善が進んでいます。

当会においても、県、市町村、各消防本部と協力して各種取り組みを実施しているところです。江戸の町火消しに端を発するとも言われる消防団は、長年の伝統や地域性により様々な運営方針が見られるため、支部が主体的に実施する活性化事業への助成による支援を行っています。一方で、火災予防運動や出初式などの各種行事や訓練など共通する事業も多くあることから全県的に必要な取り組みとして、情報共有や消防団のイメージアップのための広報誌の発行やホームページによるPR活動を行っています。

群馬県では動画で視覚的に訴えることにより、県民サービスの向上や群馬の魅力の

アピールを目的に県庁32階に動画スタジオ「Tsulunon」を設置しました。県の取り組みとして、消防団の協力の下、県職員が撮影、編集を行った動画「消防団に潜入取材」を連載として「Tsulunon」から配信しています。団員の生の声、郷土への熱い思いを広く届けることにより、地域で住民の安心、安全のため懸命に活動している消防団への理解を広めています。更に消防団員の減少を食い止めるためには、学生をはじめとする若年層や女性など、幅広い層への入団促進が求められていることから、大学の学園祭において展示ブースを設置し、現役の学生団員や消防職員と協力してリーフレットや入団促進グッズの配布などを行っています。他に、令和2年度から消防学校に女性団員科を設置し、必要とされる知識、技術の習得に加え、市町村の垣根を越えた交流を図ることにより女性消防団員の活性化を支援しています。

消防団等充実強化法において「地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」とされている消防団は、従来から地域に根ざし、その土地の気候や気質を踏まえ、住民一人一人の防災意識の醸成等を通じて、地域防災力の強化を担ってきました。そして、現在もその精神は引き継がれ、各地で御尽力いただいております。地域社会の安全、安心に寄与するため、当会としても県、市町村とともに消防団を支援して参ります。

令和5年度事業計画

(公財)日本消防協会

地球規模の環境変化のもと、災害の様相が変化していることを視野に入れつつ、ピンポイント的な局地的な被害対策を含めて、消防は、地域にあっては消防団が中核となり、常備消防との緊密な連携のもと、地域防災力の充実強化を進め、地域の安全を守っていかなければならない。そのため、消防団員の福利厚生や消防団の装備等の改善を進め、消防団員の増員確保対策の推進等により、消防体制の一層の強化を進める。また、令和6年5月末の竣工に向け、日本消防の総合的な中核拠点となる新しい日本消防会館の建設を進めるとともに、日本消防防災情報センターの開設、完成後の記念イベント等について本格的準備を進める。

令和5年度においても、新型コロナウイルス感染症の動向に十分注意しながら、各般の事業実施に努める。

I 公益目的事業

公益目的事業として、次の事業(これらに付随する事業を含む。)を実施する。

1. 消防団員等の福祉厚生に関する事業並びに消防殉職者及びその遺族に対する弔慰救済に関する事業

(1) 消防団員等福祉共済事業 [通年]

消防団員等が死亡し又は障害を受けた場合等に、その家族の生活を守るとともに、消防団員等の福祉を増進する総合的な共済事業を特定保険業として実施する。

近年の消防団員の減少による掛金収入の減、コロナウイルス感染者の増加により、特に令和4年度に顕著となった支払共済金の増により、厳しい運営を余儀なくされているが、令和5年度は、そのような状況のもと、福祉共済事業の使命を果たすため、加入者に対する必要な共済金支払いに支障が生ずることがないように予算措置を講ずるとともに、消防団員の福祉増進関連事業についてできる限りの措置を講ずることとする一方、消防団の装備の改善等に対する協力については抑制措置を講ずることとする。

大変厳しい事業運営となるが、そのようななかにあっても福祉共済事業の基本は維持し、消防団員の福祉向上に最善の努力を尽くす。

- ① 消防団員の全員加入の推進
- ② 消防職員等の加入者増の推進
- ③ 共済金の迅速な支払い
- ④ 本共済への加入促進、加入者の事故防止に資する次の事業を附帯業務として実施
 - ・ 健康増進事業(季刊紙「いきいき消防」)の発行、健康維持のための研修等の助成、都道府県消防操法大会に対する助成金交付(別掲)等

- ・ 大規模災害活動支援事業(消防団の大規模災害活動に対する支援等)(別掲)
- ・ 殉職消防団員等慰霊事業(全国消防殉職者慰霊祭 [令和5年9月14日(木)]等)
- ・ 加入促進等事業(消防資機材(車両)の交付事業、消防団活動事例集作成、女性消防団員活性化大会等)
- ・ 全国消防団応援の店事業(関係者の協力を得つつ、全国の消防団員をサービスの対象にする「全国消防団応援の店」の取組みを推進)

(2) 婦人消防隊員等福祉共済事業 [通年]

婦人消防隊員等の福祉の増進を図るための共済事業を特定保険業として実施する。

2. 大規模災害の被災地に対する見舞及び支援並びにこれらの斡旋に関する事業

大規模災害活動支援事業 [随時]

大規模な災害の発生に際し、災害活動の情報収集にあたりるとともに、被災地の消防団へ災害対策支援金等を交付する。

3. 消防活動等の表彰に関する事業

(1) 優良消防団表彰等 [令和6年3月8日(金)]

全国消防団大会において、消防活動等に功績のあった団体及び個人を表彰するとともに、消防防災に関する講演会等を併せて実施する。

(2) 特別表彰 [随時]

現場功労のあった団体・個人及び消防業務に特別に功労のあった者を表彰する。

4. 消防防災に係る記念事業及び大会の開催に関する事業

(1) 全国女性消防操法大会 [令和5年10月21日(土)]

全国の女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図り、もって消防活動の充実発展に寄与することを目的に、東京都江東区において開催する。

なお、大会前日に消防応援団のメンバーも参加し、激励交流会を開催する。

(2) 全国女性消防団員活性化石川大会 [令和5年11月16日(木)]

女性消防団員相互の情報交流等を通じ、女性団員としての視点を最大限に活用して地域防災力の向上に貢献することを目的に開催する。

(3) 全国消防団大会(再掲)

消防職団員等で、顕著な功労、功績があった団体又は個人に対する表彰等を行い、消防職団員等の士気の高揚、強い団結力の醸成、ひいては地域の総合防災力の強化に寄与することを目的に開催する。

(4) 都道府県消防操法大会 [通年]

都道府県ごとに開催される消防操法大会に助成金を交付する。

- (5) 防災推進国民大会〔令和5年9月17日(日)～18日(月)〕
内閣府、防災推進国民会議及び防災推進協議会の主催により神奈川県横浜市において開催される「防災推進国民大会2023」に事業協力する。

5. 消防防災に係る施設設備及び資機材の充実強化に関する事業

消防団防災学習・災害活動車両交付事業

平時は地域住民等に対する防災指導や防災学習に活用するとともに、災害時には人員輸送や資機材搬送などにも使用できる車両を交付する。

6. 消防団員等の教育訓練に関する事業

(1) 消防団幹部等特別研修事業

① 消防団幹部特別研修〔令和6年1月16日(火)～19日(金)〕

各都道府県から推薦された消防団長又は副団長を対象に、指導者養成のための特別研修を実施する。

② 消防団幹部候補中央特別研修〔男性の部：令和6年1月31日(水)～2月2日(金)〕

〔女性の部：令和6年2月14日(水)～2月16日(金)〕

各都道府県から推薦された、将来の幹部として期待される消防団員を対象に、幹部候補の育成を図るための研修を男女別を実施する。

③ 消防団員指導員研修〔随時〕

都道府県消防協会と連携し、消防団員指導員の養成を行う研修を実施する。

(2) 地域の消防団実施セミナー〔随時〕

全国各地へ講師を派遣し、地域の消防団活動のあり方に関する講座を実施する。

(3) 全国女性消防操法大会(再掲)

(4) 全国女性消防団員活性化石川大会(再掲)

(5) 都道府県消防操法大会(再掲)

7. 地域防災を支える婦人消防隊、少年消防クラブ、自主防災組織等の活動支援に関する事業

(1) 少年消防クラブ活性化推進事業〔通年〕

(一財)日本防火・防災協会が実施する少年消防クラブ指導者研修会の開催等に協力する。

(2) 全国少年消防クラブ交流大会〔令和5年9月16日(土)～18日(月)〕

消防庁主催による「全国少年消防クラブ交流大会」に協力する。(鳥取県米子市で開催予定)

(3) 婦人消防隊員等福祉共済事業(再掲)

8. 消防防災思想等の普及徹底及び情報の収集提供並びに雑誌図書その他の刊行頒布に関する事業

(1) 消防団情報提供事業 [通年]

ホームページの充実を図り、当協会の事業等の広報に努めるとともに、地域防災力の向上に資するよう全国の消防団の活動状況に関する情報等を提供する。

(2) 機関誌「日本消防」発行事業 [通年]

機関誌「日本消防」を毎月発行する。

(3) ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 [毎週]

消防団活動を広報し、消防団員の確保等に資するため、消防応援団等の著名人をゲストに迎え、消防団員の出演によるラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」(全国30局ネットによる毎週放送)を実施する。

(4) 消防懇話室

幅広い消防防災関係の方々に気軽に立ち寄っていただき、自由に意見交換ができるよう引き続き日本消防協会仮事務所内(6階)に消防懇話室を設ける。

9. 防火防災訓練につき市町村が行う災害補償等の共済に関する事業

防火防災訓練災害補償等共済事業

市区町村及び組合が防火防災訓練の際における事故について損害賠償又は災害補償を行う場合に、その負担をてん補することを目的とした共済事業を特定保険業として実施する。

10. 消防防災に係る調査研究に関する事業

(1) 地震等防災対策委員会 [随時]

現地調査を含め、地震等の災害対策のあり方について調査・検討を行う。

(2) 消防団員確保対策等委員会 [随時]

消防団員の確保対策のあり方等について検討する。

11. 都道府県消防協会及び消防諸団体の事業に対する協力並びにこれら団体の相互連絡に関する事業

都道府県消防協会のほか、殉職消防職団員等の子弟の育英事業を行う公益財団法人消防育英会、消防職団員の福祉厚生の一翼を担う生活協同組合全日本消防人共済会、民間防火組織の育成や防火・防災思想の普及を行う一般財団法人日本防火・防災協会、消防殉職者のご遺族の連絡組織である全国消防殉職者遺族会等に対し、事業協力を行う。[通年]

12. 消防防災に係る国際協力に関する事業

(1) 日本国内及び海外での新型コロナウイルス感染の収束状況をみながら、次の事業を実施する。

① 日中韓消防交流事業

- ア 第36回日中消防協会定期協議会(中国)
- イ 第34回中国消防視察
- ウ 第12回日中韓消防協会会議(中国)
- エ 中国消防協会研修視察団の受入れ

② 消防国際交流事業

海外消防事情調査やCTIFの会議等に参加するなど、海外の消防機関との情報交流等を実施する。

- ア CTIF女性消防委員会会議(スイス)
- イ CTIF総会(オーストリア)
- ウ 海外消防事情調査(アメリカ)

(2) 消防車両等国際援助事業 [通年]

開発途上国の消防力の充実強化と友好親善を促進するため、日本国内の中古消防車両の無償援助を行う。

13. 消防団員確保対策の推進等による消防体制の一層の強化

消防団員の減少傾向をとどめ、団員の増員確保を進めるよう、必要な対策の推進を図り、日本消防の一層の体制強化を進める。

II 収益事業

引き続き、公益目的事業の補完的役割を担う次の収益事業を実施する。

1. ヤクルト本社ビルに開設したニッショーホール及び会議室等を提供する事業 [通年]

ニッショーホール及び会議室の利用率の一層の向上に努め収益の確保を図るとともに、公益目的事業を安定的に実施していくための基盤となる日本消防会館の改築等に必要な財源の確保に努める。

2. 消防防災に関する出版物や物品を販売する事業 [通年]

消防防災に関する出版物及び物品類の販売促進に努める。

3. 消防団員等を対象とする積み立て方式の年金事業 [通年]

消防個人年金事業についてさらなる加入促進を図り、消防団員等の老後の生活の安定と福祉の向上を図る。

消防団員増員確保をめざして

(公助)日本消防協会 会長 秋本敏文

近年、消防団員の減少傾向がつづいていますが、令和4年4月の消防庁調査、10月の日消調査では、対前年、いずれも2万人以上の減で、とうとう80万人を下まわることとなりました。

若い人の入団数減少が明らかなのですが、何故そのような事態となったのか。消防団も市町村も入団促進に努力しておられるのですが、若い人等の消防団に関する知識、消防団の重要性に対する認識が十分でないようですね。

これは、消防団にとっても、地域の防災体制にとっても大変なことです。日消としても、全国の消防団の皆さんと力を合わせて団員の増員確保をめざした取り組みを進めるため、日消内に、各ブロック代表の副会長さんと団員確保対策委員会委員長等による団員確保対策推進本部を設置し、令和4年6月は、「消防団員確保対策の推進—消防団に入ってみようかなと思う人のさらなる増加を—」という意見を決定して、関係方面に実現をお願いしました。この意見は、一般の皆さんの消防団活動への信頼が一層高まり、消防団の重要性に対する認識が高まるように消防団の装備の充実等を申しあげた総合的な内容のもですが、全国の消防団の皆さんから強いご要望がある消防団のPRの充実を強調しました。

このような働きかけをしているうちに、消防団だけでなく、女性防火クラブのメンバーも大巾に減少していることが明らかになりました。かつては優に200万人おられたのに、今は107万人、もう100万人を下まわりそうになっています。このような状況は、消防団が中核となる地域防災体制の維持にも関わりがあり、地域防災体制全体に関わる状況として問題視しなければならないかと思われまます。

一方、消防団員減少については、国会議員の方々も重大視して下さるようになっており、自民党消防議員連盟でもとりあげて頂き、日消としても発言の機会を頂くようになりました。そこで、消防団員の増員確保を中心としながら、地域防災体制全体へのご関心を頂くようにするとともに、テレビ放映による消防団のPRでは地域活性化の取組み等のなかで消防団への入団があり、消防団員が地域社会のなかでも重要な活動をしている存在、いわば消防団と地域とは密接不可分、一体のものであることを意識して取り扱って頂くようにということ等を申しあげさせて頂き、また、新しい日本消防会館は消防団PR等の面でも活用すること等、本当にいろいろ申しあげさせて頂いています。

消防団員確保は、ご苦勞なさっている皆さんがよくご存じのように簡単ではありませんが、国、地方公共団体を含む国民全体の総力で取り組まなければならないでしょう。皆さん、ご一緒にがんばりましょう。

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 前田一浩 消防庁長官 出演 (放送日 令和5年4月1日(土)又は2日(日))

(公助)日本消防協会



ひろたアナ：「おはよう！ニッポン全国消防団」、今日のゲストは消防庁長官の前田一浩さんです。おはようございます。

前田長官：おはようございます。消防庁長官の前田です。よろしくお願います。

ひろたアナ：早速ですがラジオをお聞きの皆さんに消防庁がどんなお仕事をされているところか教えてください。

前田長官：消防は、地域の皆様が安心して暮らせる安全な地域づくりを担う市町村の重要な仕事です。現在、全国で17万人の消防職員、78万人の消防団員、合わせて約95万人の消防職団員が、活動しておられます。日々、消火活動をはじめ、火災等の警戒・予防、救急、自然災害、事故、テロ災害、これらの災害で被災された方々の救助まで、幅広い業務を担い、地域の安心・安全を守っています。私たち総務省消防庁は、その現場の皆様を支えるための制度づくりや支援を行っています。また、大きな災害が発生した場合、地元や県内の消防機関だけでは対応しきれないことがあります。こうしたとき、「緊急消防援助隊」という全国からの応援部隊の派遣や調整など、いわば大災害対応の司令塔としての役割も担っています。

ひろたアナ：とても大切なお仕事なんですね。昨年度も地震や台風をはじめ各地で大きな災害がありました。そのような時、消防団員の皆さんはどのような活動をされたのでしょうか。

前田長官：昨年度を振り返ってみると、6月の石川県能登半島を震源とする最大震度6弱の地震のほか、8月の大雨特別警報が発令された豪雨、9月には相次ぐ台風の襲来など、自然災害に見舞われ、大きな被害が発生しました。消防団員の皆様は、自ら被災した方もいらっしゃる中、いち早く現場に駆け付け、住民の避難誘導や救助、また、地域の巡回や避難所の支援など、昼夜を分かたず精力的に活動していただきました。

ひろたアナ：消防団員の方が命がけで活動をしてくださったんですね。こうした消防団員に対する、消防庁としての最近の取り組みにはどのようなものがありますか？

前田長官：地域を災害から守っていくためには、消防団員の力が必要ですが、消防団員の総数は残念ながら減少傾向が続いています。このため、総務省消防庁では、スピード感を持って、地方公共団体と一緒に様々な対策を進めています。まず、幅広い住民の皆様の入団

を促進するため、これまで毎年1月から3月に実施していた消防団員入団促進キャンペーンを、今年度から1年を通して行うこととしました。YouTubeや電車内モニターでの動画の配信に加え、GWや夏休みなどの長期休暇期間にショッピングモール等で入団促進イベントを行うなど、若者の皆様に消防団を広く知っていただく機会を増やしてまいります。合わせて、消防団におけるデジタル技術の推進、子ども連れでも活動できる消防団の環境づくり、企業・大学等と連携した消防団加入促進など、社会環境の変化に対応した消防団運営を支援しております。そのため、このような先進的な取り組みを全額国の予算で支援する「消防団の力 向上モデル事業」を昨年度に引き続き、今年度も実施してまいります。この他にも、女性や学生をはじめ様々な方が参加しやすくなるよう、大規模災害時など、一部活動だけ参加できる機能別団員制度や、消防団に協力的な事業所を認証する制度など団員数の減少に歯止めを掛ける様々な取り組みを行っております。

ひろたアナ：本当に様々な取り組みをされているんですね。この番組は消防団の方も聞いていらっしゃるよ。ラジオをお開きの消防団員の皆さんにメッセージをお願いします。

前田長官：全国の消防団員の皆様が、それぞれお仕事をもちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という高い使命感の下に、一致団結してご尽力いただいていることに、改めて、心から敬意を表し、感謝申し上げます。我が国は、毎年、様々な自然災害に見舞われています。こうした災害時における消防団への期

待はたいへん大きく、消防団は地域防災力の要であり、中核です。今後とも、地域の安心・安全の確保のため、より一層の御活躍をいただきますよう、よろしく申し上げます。私たち総務省消防庁も、全力で応援します。

ひろたアナ：では最後に全国でこの番組を聞いていらっしゃる方にもお伝えしたいことはございますか？

前田長官：大きな自然災害は、いつでもどこでも起こりえます。今後とも、私たち行政が防災対策の充実に不断の努力を続けることはもちろんですが、行政の対策のみでは、やはり限界があります。国民の皆様のお一人おひとりが、「自分の命は自分で守る」という意識を強く持っていただき、ご自身の判断で必要な避難行動を躊躇なくとっていただく、という住民主体の取り組みが重要です。私たち行政は、それを全力で支援します。そのためには、まずは、皆様お住まいの地域のハザードマップを確認いただくなど日頃から、防災に対する意識を高めていただきながら、地域の防災リーダーである消防団や自主防災組織の方々と一緒に連携を深めていただければと思います。また、日頃から地域の安心・安全を守るため活動している消防団というものに、是非、興味と関心を持っていただき、学生の方、女性の皆様を含め、一人でも多くの皆様の、消防団へのご参加をお願いします。

ひろたアナ：「おはよう！ニッポン全国消防団」、今日は、消防庁長官の前田一浩さんにお話を伺いました。前田さん、ありがとうございます。

前田長官：どうもありがとうございました。



1 はじめに

岩見沢地区消防事務組合岩見沢消防団は、令和5年3月3日ニッショーホールで開催されました「第75回日本消防協会定例表彰式」におきまして、最高榮譽である特別表彰「まとい」を受賞いたしました。

全国の消防団の中から「まとい」を受賞できましたことは、岩見沢消防団にとりまして大変名誉なことであり誇りとなりました。今回の受賞は、いついかなる時も住民に寄り添い、献身的な消防団活動を実施していた団員と、永年にわたって地域を支えてきた諸先輩方、そして団員家族の理解の賜物でございます。

岩見沢消防団を見守っていただいた地域の皆様と多くの消防関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

2 岩見沢市の紹介

岩見沢市は、人口76,753人(令和4年12月31日時点)、面積481.02km²。北海道の中心部に位置し、交通の要衝として発達しました。自然豊かな北海道の大地で作られた玉ねぎや白菜は、全国各地へ出荷され多くの方に喜ばれております。

岩見沢市を代表とするお祭りの一つとして「いわみざわ百餅祭り」があります。直径2.2メートル重さ5.5トンの世界最大の大臼を用いた餅つきは迫力満点で出来上がったお餅、1,200食分をお汁粉にして皆様に食べていただきます。このお餅を食べた方は100歳以上元気に暮らしていきけるとの伝説が代々伝わっています。



いわみざわ百餅祭り

いわみざわ公園バラ園では約4ヘクタールの園内に約750種、8,700株のバラやハマナスが植えられ、6月下旬から10月下旬ころまで色とりどりの花を咲かせ、訪れる方たちを和ませています。



いわみざわ公園バラ園

映画の舞台にもなった宝水ワイナリーでは、土地の風土を生かしたワイン造りをおこなっており、雪深い大地に育つドウの透明感のある味わいを生かした爽やかな味わいのワインは多くのファンを獲得しております。

3 岩見沢消防団の沿革

岩見沢消防団の歴史は、明治27年に有志により私設消防組を設立、手押しポンプを一台購入し火災防御の任に当たりま

した。その後、警防団そして消防団に改組し昭和47年4月1日岩見沢地区消防事務組合が設立されました。組合設立当初は岩見沢市、栗沢町、月形町、北村の1市2町1村でしたが、平成18年に岩見沢市、栗沢町、北村が合併し、現在は岩見沢市と月形町の1市1町の組織となりました。消防団は平成20年に岩見沢消防団、栗沢消防団、北消防団が統合し現在の岩見沢消防団となりました。

4 岩見沢消防団の活動

4月の辞令交付に始まり、ポンプ操法と規律訓練を消防職員から直接指導を受ける現地教育訓練、多くの来賓や市民の方に日頃の訓練成果をお披露目する消防演習、春・秋の火災予防運動時に消防車両にて防火広報、一般住宅を訪問し防火指導をするなどの市民に対しても積極的に防火活動を実施しています。そして、年の初めには伝統行事であります出初式。

春には新人団員を対象に消防団員としての基礎を習得する消防団員基礎講習を実施しています。



演習時放水訓練

火災時は消防職員の後方支援としてホース延長や水利の確保等を実施し、水害時は、内水の氾濫を防ぐため、農業用トラクターを動力とする大型排水ポンプを使用して排水活動を実施しています。

冬は全国的に有名な大雪で、災害時に水利が雪で埋もれ使用できなくなってしまう、極寒のなか、自分の身長よりも高い積雪で埋まった消火栓等を除雪し、水



大型排水ポンプでの排水活動



消火栓除雪

利を確保しています。

また、岩見沢消防団は平成23年に女性分団が発足し、きめ細やかな気づかいと優しさで防火啓発活動を実施しています。女性分団の活躍により、さらに親しみやすい消防団に成長したことを市民の皆様にも喜んでいただいています。

このように災害では昼夜を問わず出勤し、平常時は街の安心安全を守るため献身的な活動を実施しています。

5 おわりに

災害が多種多様化しており、市民が消防団に求める役割はより広範囲になっていくものと思われます。消防団員数は全国的に減少傾向にあり岩見沢市でも例外ではなく課題は多くありますが、この賞を誇りとし、市民に一番近い消防機関として日々精進してまいります。このたびの受賞にあたり格別なご高配を賜りました、日本消防協会、北海道消防協会をはじめ、岩見沢消防団を常日頃支えていただいている皆様に深く感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



「歴史と陶器のまち 益子を守る」



益子町消防団 団長 法師人 和哉

1 はじめに

関東平野の北、栃木県の南東部になだらかに広がる益子町。総面積は89.4㎡、総人口21,160人(令和5年1月1日現在)となっており、町の西側を小貝川が北から南へと流れ、その兩岸の平野部が町の大半を占めています。町の南部は茨城県と県境を接し、風光明媚な丘陵地となっています。四季折々の自然とゆるやかな起伏の山に育まれたこの土地では、やきものの原料となる良質の陶土を産出します。手のひらで包むと、土のぬくもりがじんわりと伝わってくるやきものは、町の代表的な伝統工芸のひとつ「益子焼(陶芸)」として、日本のみならず、海外にも知られるようになりました。また民芸運動の拠点として、昔から内外の陶芸家を受け入れてきた進取の気性に富む土地柄も大きな魅力です。

また、春・秋に開かれる陶器市は延べ60万人の観光客で賑わいます。このほか、芦沼獅子舞や妙伝寺雅楽、八坂神社御神酒頂戴式などの民俗芸能、西明寺三重塔などの国の重要文化財を含む歴史建造物が残る歴史かおる町です。

2 益子町消防団の紹介

益子町消防団は、消防団長をはじめ副団長及び3分団15部で構成されています。団員数は217名(条例定数219名、令和5

年1月1日現在)で、運用資機材は、消防ポンプ自動車12台、小型動力ポンプ付積載車3台、資機材車1台であり、町民の安心安全のため、日夜活動しています。令和4年度はコロナ禍の影響により、2年間中止となっていた町消防操法大会が開催されました。小型ポンプの部については、全国消防操法大会にも出場し、町消防団としては3大会連続出場(第26回大会ポンプ車の部では優勝)を果たすことができました。応援やご指導いただきました関係者の方々の多大な協力があったことはもちろん、限られた時間の中で、たゆまぬ努力を重ねた団員の高い志があったからであると考えております。

3 消防団の活動

益子町消防団の活動は、1月の文化財防火訓練に始まり、4月には消防団各部の部長・班長・新入団員を対象とした研修会や礼式訓練、6月には夏季点検、町消防操法大会を行っています。10月には町内全域に総合防災訓練が行われますが、消防団においては、自主防災組織や地域住民と共に避難誘導訓練、消火訓練・救助方法の指導と訓練を行い、防災力向上と防災意識の高揚に努めています。11月には規律動作競技会、12月には通常点検、年末特別警戒があります。



全国消防操法大会



規律動作競技会

4 おわりに

近年、全国各地で異常気象によるゲリラ豪雨や竜巻、さらには台風等が頻繁に起こっており、広域災害における消防団の重要性が高まっております。また、地域社会における連帯の強化と災害時の自衛意識高揚は、昨今、急速に進む高齢化社会において必要不可欠なものと感じてお

ります。

私達消防団員は、防災活動はもとより、地域若手リーダーとしてこれまで以上に心身の鍛錬と技術の向上に努め、美しい里山と、古い歴史に支えられたふる里益子を守り、協働の精神を持って、明るく元気なまちづくりの力になりたいと考えております。



「市民の安全・安心を守る という使命のもと」



亀岡市消防団 団長 田井 浩二

1 亀岡市の紹介

亀岡市は、京都府のほぼ中央に位置し、四方を山に囲まれ、中央部を保津川が流れる山紫水明の地で、昭和30年1月、京都府で7番目の市として誕生しました。

「京の奥座敷」や「京の穀倉地帯」ともたとえられる本市は、保津川下り、トロッコ列車、湯の花温泉の三大観光をはじめ、ラフティング、パラグライダーといったアクティビティや明智光秀公が治めた丹波亀山城下町など、多彩な魅力を秘めています。

また、令和2年には、「サンガスタジアム by KYOCERA」が竣工しました。当スタジアムは、収容人数21,600人を有する、サッカー、ラグビー等の専用球技場であり、亀岡駅の東側に位置しております。昨年、12年ぶりにJ1昇格した京都サンガF.C.のホームスタジアムとして活用される

ほか、サッカーやラグビー等の国際試合が開催可能なスポーツ施設でもあり、音楽や地域振興の催し物など、府内最大級のイベント会場としても府民の皆さまから大きな期待が寄せられております。

2 亀岡市消防団の紹介

亀岡市消防団は、昭和30年1月1日、亀岡市の市制施行に伴い、16町村消防団が合併し、誕生しました。

現在は、1本部、19分団、37部で構成されており、条例定数は900名で令和5年1月1日現在877名(男性849名、女性28名)の団員で活動しております。

主な装備として、団本部積載車1台、団本部多機能車1台、消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ積載車49台が配備されており、224.8km²という広大な面積を持つ亀岡市を守備しております。



亀岡市消防出初式



ラッパ隊訓練の様子

また、ラッパ隊を有しており、出初式等の式典において演奏され、消防団員の規律の維持及び士気の高揚を図っております。

3 亀岡市消防団の活動

亀岡市消防団の主な活動は、年間の事業計画に基づき、各種訓練等を実施しております。

1月の消防出初式では、式典から始まり、徒歩部隊、消防団車両での市巾行進、そして市民の憩いの場である南郷公園で一斉放水を実施し、「火災ゼロ」の1年となるよう誓い合います。

春と秋の火災予防運動期間中には、消防車両による防火広報や防火チラシの配布などを行い、かけがえのない生命と財産を守る活動に取り組んでおります。

消防団活動の基本となる訓練においては、年度当初に行われる新幹部及び新入団員を対象とした各種教養訓練のほか、合同操法訓練、水防訓練、夏期訓練などを実施し、消火活動、水防活動の技術向上及び消防団員としての厳正な規律の修得に努めております。

そして、隔年で開催される全国消防操法大会に向けた操法訓練にも励んでおり、各分団は全国大会への出場を目指して競い合っております。また、亀岡市唯一の女性団員で構成されているつつじ分団は、令和5年度に開催される全国女性消防操法大会に京都府代表として出場予定であり、上位入賞に向けて日々訓練を重ねております。

亀岡市消防団の主な表彰歴につきましては、平成13年2月に日本消防協会が行



亀岡市消防操法大会

う機関表彰の最高位である「日本消防協会特別表彰(まとい)」を受賞しております。そして、平成30年7月豪雨では、昼夜を分かたず水防活動に従事した功績が認められ、平成31年2月に「水防功労者国土交通大臣表彰」を受賞、令和元年9月に「防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しております。

4 終わりに

近年は、コロナ禍の影響により、長期にわたる消防団活動の中止と行事の規模縮小により、団員の士気の低下や亀岡市消防団全体の連携不足による消防力の低下が懸念されました。そのような状況下でも、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら各分団で工夫をして訓練に励み、火災等の災害に備えて参りました。

今後も、地域防災の要として、あらゆる社会情勢に対応しながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神のもと、より一層消防団活動に専念し、市民の安全・安心を守る所存であります。



「自分たちのまちは、 自分たちで守る」



新富町消防団 団長 宮脇 国宏

1 新富町の紹介

新富町は、宮崎県沿岸部のほぼ中心に位置し、町域は南北約9km、東西7kmで、総面積61.53km²です。明治22年の市制町村制施行の際、上富田、下富田、日置、三納代の4つの村が合併して富田村が、伊倉村・新田村が合併して新田村が誕生しました。その後、昭和34年には富田村と新田村が合併し、新富町となり現在にいたります。

地勢としては、県都宮崎市及び西都市に隣接し、海・河・台地に囲まれた自然豊かな町で、1日の日照時間が長く、年間を通じて快晴日数も多く、温暖な気候に恵まれ、良質な水も豊富にあります。その自然を生かし、町の主要産業は農業で、農地面積は畑約2,210ヘクタールで水田地帯では稲作・施設野菜、畑地帯では、甘藷・茶・洋らん等の栽培、養鶏・肉用牛・酪農など畜産が盛んで「野菜と畜産の町」として県下に誇る農業の町となっております。また、町の中央部の台地には、航空自衛隊新田原基地があり、国土防衛の要として、貴重な役割を担っています。

2 新富町消防団の紹介

新富町消防団は、昭和34年に団員条例定数612名、1本部4分団26部で誕生し、現在は団長、副団長、分団長7名の属する

団本部を筆頭に、女性部、ラッパ隊、4分団16部の体制となっております。令和4年4月1日時点の団員数は定数329名（うち60名は機能別消防団員）に対し、基本団員271名、うち女性消防団員は8名、機能別消防団員22名です。女性部、機能別消防団員を令和3年4月に発足し、多機能で幅広い消防活動を推進しているところです。

消防団車両は、水槽付き消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付き積載車14台、指揮広報車1台の計18台を用いて、住民の生命と財産を守るために日々活動しています。

3 新富町消防団の活動状況

新富町消防団の活動は、4月の辞令交付式から始まり、操法大会、夏季訓練大会、火災防ぎょ訓練、消防始式、火災予防週間や年末特別警戒の広報活動等を年間通して行っております。しかし近年では、新型コロナウイルス感染症の影響で、団の活動を制限せざるを得ない状況となり、様々な行事等が中止となってきました。そのような中でも、火災・災害はいつ起こるか分かりません。町の防火防災力、団員の士気低下を防ぐために様々な訓練に取り組んで参りました。今まで団として培ってきた消防の知識を後世にしっかり



南海トラフ巨大地震を想定した机上訓練の様子



新富町消防操法大会の様子



「子ども会防災フェスタ」時の背負い式水のう消火体験

り引き継ぐために、防火防災力の向上を目的として、ベテラン団員が若手団員へ知識・技術を伝えるホース連結訓練を実施したり、多様化する災害に備え、チェーンソーやエンジンカッター等の資機材の使用訓練にも力を入れて参りました。このような訓練のおかげで、コロナ禍でありながら団の結束力は高まっていると感じております。

また近年では、南海トラフ巨大地震を想定した机上訓練を行い、大規模災害では自らの命、家族の命を守ることを念頭に、消防団の役割・求められる行動等を学んでいます。

その他にも、地区や高齢者施設での防災訓練、子ども会の防災イベントにも積極的に参加し、地域に根差した活動も行ってまいります。

「コロナ禍だから」と悲観せず、できることをしっかり行ってきたことで、改めて消防団の意義を再確認することができ、地域の防火防災のリーダーとしての礎を再構築できる時間となりました。

4 おわりに

全国的ではありますが、新富町でも人口減少や生活体系の変化から団員確保が困難な状況となっております。また、近年消防団を取り巻く社会環境も変化しつつある中で、全国各地で災害が多発・激甚化してきており、地域からの消防団への期待は年々高まっています。今後はさらに地域防災組織などとの連携が必要不可欠となり、消防団に求められるものも大きくなることが想定され、団員一人一人の防火防災の意識を一層高めていかなければならないと感じております。

あらゆる災害で消防団の大きな力が求められていることから、これからも様々な訓練を通して知識・技術を習得し、「自分たちのまちは、自分たちで守る」の精神をしっかりと持ち、地域防災の要として精進して参ります。



シンフォニー（山形県）

これから女性消防隊の役割を考える ～魅力ある活動と人材確保～

山形市消防団 女性消防隊 部長 鈴木 美香

1. はじめに(山形市の紹介)

山形県は、東北地方の横顔の形をした県で、山形市は耳のあたり、中核市である山形市は、春はサクランボ、夏は「閑さや岩にしみ入る蟬の声」と芭蕉が読んだ静寂な山寺。秋の川原を賑わす芋煮会では、6.5mの鍋を使った「日本一の芋煮会」は3万食を調理。冬はスノーモンスター（樹氷）が神秘的な蔵王。四季折々の、自然・食・温泉などが楽しめます。

また、山形市は災害の少ない地域で、ほぼ無いといっても良いくらいです。穏やかな過ごしやすい街ですので、防災に関してちょっと油断している街ともいえます。

2. 山形市女性消防隊の紹介

山形市女性消防団は、本部付機能別消防団として、地域を問わず隊員となっております。平成6（1994）年全国操法大会出場を期に8名で結成され、今年で29年目を迎えました。主な活動は、応急手当指導を行っております。平成12（2000）年に、山形県内初の女性消防応急手当指導員を取得し、消防団7方面隊21分団へ図上訓練での指導や、市民・企業などへ指導を年間を通して行っております。全体の活動としては、出初式、春季消防演習、山形市防災訓練、消防団音楽隊コンサー

トの補助、全国女性消防団活性化大会へ参加、そして、月2回程度の通常訓練日として本部に集まり、楽しく活動しております。

3. 現状と課題

山形市においては、防災・防火の組織機能が整っております。炊き出し訓練は防火クラブ、独居老人訪問は民生委員、消火器指導や火災報知器広報などは、本署に防火指導員がおります。活動範囲がある中、私たち女性消防隊が出来る事を模索し活動しなければなりません。

女性隊は現在8名在籍しており、以前は20名以上の時期もあり、平成16（2004）年には、山形県山形市において、第10回全国女性消防団活性化大会を開催しました。年月は早いもので、私たちも高齢になってしまい、親の介護や、体調不良などで実質5名程が動いている状態です。



第10回全国女性消防団活性化山形大会の様子

団員募集は通年行っているのですが、ここ何年かは入団がありません。女性隊員も、高齢化と団員不足が最重要課題となっております。



令和5年出初式典での様子

4. 今後に向けて

女性隊は、地元の消防団には入っておらず、地域でもあまり認知されておられません。今まで色々な場面、イベント等で勧誘を行ってきましたが、防災やボランティアには興味があっても、女性消防隊を知らないのでは加入に繋がりません。女性隊がもっと周知され、魅力的な活動を行い、隊員の加入推進をしなければなりません。

その1つに考えるのは、少年消防クラブです。防火・防災を子どもの頃から身に付け、地域の消防団活動を知り、消防に対して抵抗なく、未来の消防団に繋げていくには、幼児教育、少年消防クラブの発展が重要かと思います。東京出初式には、凛々しい少年消防団の行進があります。他県では、少年消防クラブを指導している女性消防団があります。私は、少年消防クラブを支援する活動を女性隊が担っていきたいと思っています。

加入促進については、市報や広報紙の募集を待っていても、今は希望者が集ま

りません。地域防災機能を考えると、地域の中核的役割を担う、コミュニティーセンターの職員・保育所・老人施設等、一人でも消防団が居れば地域との連携も向上すると思われます。まずは、消防団の活動を理解してもらい、入団の促進に努めたいと思っていますところです。

5. おわりに

今年は、自治体消防75周年、消防団130年の節目の年です。山形県飛島は女性消防団の発祥の地。男性たちが漁に出て島から離れている間、島は自分たちの手で守る、自助・共助の精神から女性消防団が出来ました。

消防団に入って、いろいろな人と出会い、様々な事を学び、経験して、自分自身のスキルアップになっていると感じます。応急手当指導で「ありがとう」と感謝していただきます。活動において、なよりの励みとなります。私たちは、年齢も違いますし、家庭環境や仕事も違います。これからいくつもの問題や課題が出てくるかもしれませんが、みんなで乗り越え解決しながら、楽しく続けていきたいと思っています。

私たち女性消防隊は、女性の特性を生かし、きめ細やかな支援、地域と密着した予防防火指導・啓発活動を考えながら行っていきたいと思っています。



応急手当指導訓練の様子

南国市消防団災害活動用重機を導入しました

高知県 南国市消防団

この度、南国市消防団では、南海トラフ地震をはじめとする、各種災害に対応するため、災害活動用重機を導入致しました。

当消防団では平成25年に、土木・建築業に従事している消防団員の中から15名を選出し、重機部隊を発足させています。これまでは、消防団員が保有する重機等をお借りし活動に使用していましたが、この度、総務省消防庁が進める、「消防団の力向上モデル事業」を活用し、重機の導入及び各種車両系建設機械等の免許取得を公費で進めました。重機を配備することで、災害対応力の向上及び消防団員のオペレーターとしての技能向上が見込まれ、資格取得等を公費で賄うことにより、若い消防団員の入団促進及びモチベーションアップにもつながります。

今回導入した機体は、3.5トンクラスの重機で、あらゆる災害に対応するため、掘削用バケットと解体用の全旋回つかみをワンタッチで交換することが可能で、360度回転させることのできるつかみは、手首のように自由自在に動かせることができ、瓦礫撤去及び建造物の解体等に能力を発揮します。

○車両系建設機械(解体用)運転技能講習の写真



○南国市消防団機動部隊重機訓練(令和5年2月5日開催)



○南国市消防団災害対応重機納車除幕式及びデモンストレーション(令和5年2月28日開催)



令和4年度消防功労者消防庁長官表彰

総務省消防庁

消防記念日(3月7日)にちなみ、令和5年3月10日(金)ニッショーホールにおいて、「令和4年度消防功労者消防庁長官表彰式」が挙行されました。

本表彰式において受章された消防団員は次のとおりです。

功労章を授与する消防団員(64名)				都道府県名 所 属				階 級	氏 名
都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名		
北海道	八雲町熊石消防団	団長	桂川 敏 幸	三重県	松阪市消防団	団長	山川 良 樹		
〃	大樹消防団	団長	金丸 正 道	京都府	京都市上京消防団	団長	栗 利 久		
〃	北後志消防組合仁木消防団	団長	金子 子 英 治	〃	京都市西京消防団	団長	大八木 修 三		
〃	岩内・寿都地方消防組合共和消防団	団長	金子 子 英 治	〃	京丹波町消防団	団長	栗 利 久		
〃	砂川地区広域消防組合砂川消防団	団長	山田 正 人	〃	向日市消防団	団長	野村 和 久		
〃	岩内・寿都地方消防組合寿都消防団	団長	寺岡 信 木	〃	京都市左京消防団	団長	山 和 康		
〃	滝川地区広域消防事務組合雨竜消防団	団長	藤村 夫 志	大阪府	岸和田市消防団	団長	椎 康 宏		
〃	斜里地区消防組合小清水消防団	団長	不破 泰 志	兵庫県	豊岡市日高消防団	団長	成 田 安 浩		
〃	北留萌消防組合焼尻消防団	団長	三浦 龍 之 志	奈良県	下北山村消防団	団長	栗 平 一		
青森県	田舎館村消防団	団長	山本 志 幸	〃	十津川村消防団	団長	中 南 太 一		
岩手県	紫波町消防団	団長	阿部 秀 夫	和歌山県	田辺市消防団	団長	秀 南 幸		
〃	田野畑村消防団	団長	村上 繁 幸	鳥取県	大山町消防団	団長	陶 山 友 文		
〃	葛巻町消防団	団長	橋本 秀 雄	広島県	熊野町消防団	団長	壺 沖 操		
〃	久慈市消防団	団長	廣 崎 康 一	〃	東広島市消防団	団長	延 慎 治郎		
宮城県	七ヶ宿町消防団	団長	五十嵐 敏 夫	徳島県	三好市東祖谷消防団	団長	森 洋 彦		
〃	南三陸町消防団	団長	高田 一 郎	愛媛県	松前町消防団	団長	嘉 重 雄 一		
秋田県	大館市消防団	団長	齋 藤 勉	〃	砥部町消防団	団長	後 藤 英 治		
福島県	新地町消防団	団長	角 田 正 悦	高知県	三原村消防団	団長	大 倉 民 雄		
埼玉県	狭山市消防団	団長	伊 藤 隆 弘	〃	室戸市消防団	団長	谷 川 岩 男		
〃	新座市消防団	団長	鈴木 克 典	〃	高輪消防組合四万十消防団	団長	松 本 章 利		
〃	幸手市消防団	団長	山 中 栄 栄	〃	日高村消防団	団長	藤 本 利 幸		
千葉県	君津市消防団	団長	小 原 幸 春	〃	土佐市消防団	団長	山 本 倫 弘		
〃	白井市消防団	団長	中 村 教 雄	福岡県	北九州市洞海湾消防団	団長	上 田 泰 弘		
神奈川県	横浜市港北消防団	団長	飯 田 孝 彦	〃	大任町消防団	団長	佐々木 恵 治		
〃	横浜市瀬谷消防団	団長	鈴木 政 興	熊本県	球磨村消防団	団長	松 野 三 夫		
〃	伊勢原市消防団	団長	田 中 和 浩	〃	あさぎり町消防団	団長	濱 辺 敬 志		
〃	横浜市栄消防団	団長	増 田 明 彦	〃	津奈木町消防団	団長	山 口 武 久		
新潟県	小千谷市消防団	団長	富 井 正 志	大分県	津久見市消防団	団長	井 上 智 彦		
福井県	福井市消防団	団長	石 丸 演 夫	〃	姫島村消防団	団長	大 海 利 光		
岐阜県	養老町消防団	団長	伊 藤 勝 則	宮崎県	美郷町消防団	団長	甲 斐 文 雄		
愛知県	安城市消防団	団長	太 田 勇 男	鹿児島県	大和村消防団	団長	森 田 昌 敬		
〃	名古屋市本地丘消防団	団長	川 端 誠 一郎	〃	喜界町消防団	団長	森 正 樹		

永年勤続功労章を授与する消防団員（1,952名）

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
北海道	新得町屈足消防団	団長	安久光 充政	北海道	北後志消防組合古平消防団	副団長	木村 敏秋
〃	榊山広域行政組合せたな町大成消防団	団長	太田 豊一	〃	札幌市中央消防団	副団長	小坂 麗信
〃	榊山広域行政組合厚沢部町消防団	団長	末 村 秀喜	〃	美幌・津別広域事務組合津別消防団	副団長	小坂 憲彦
〃	石狩北部地区消防事務組合石狩消防団	団長	日下部 勝義	〃	富良野広域連合中富良野消防団	副団長	佐々木 憲明
〃	滝川地区広域消防事務組合滝川消防団	団長	沢村 林志	〃	本別消防団	副団長	佐藤 公昭
〃	南渡島消防事務組合北斗消防団	団長	澤 信行	〃	紋別地区消防組合興部消防団	副団長	佐藤 毅敏
〃	北見地区消防組合訓子府消防団	団長	柴田 浩三	〃	函館市函館消防団	副団長	田原 幸雄
〃	大雪消防組合比布消防団	副団長	上 西 克剛	〃	根室北部消防事務組合羅臼消防団	副団長	津山 弘和
〃	苫小牧市消防団	団長	新谷 新一	〃	北見地区消防組合留辺蘂消防団	副団長	東海林 和善
〃	大雪消防組合東川消防団	副団長	林 克政	〃	南空知消防組合長沼消防団	副団長	室 敏一
〃	網走地区消防組合女満別消防団	副団長	藤 井 靖	〃	音更町消防団	副団長	中 嶋 裕
〃	紋別地区消防組合西興部消防団	副団長	菅 智	〃	渡島西部広域事務組合福島消防団	副団長	新山 博文
〃	榊山広域行政組合奥尻町消防団	副団長	三浦 敏幸	〃	遠軽地区広域組合湧別町消防団	副団長	服部 和夫
〃	南宗谷消防組合浜頓別消防団	副団長	森江 久則	〃	羊蹄山ろく消防組合俱知安消防団	副団長	本 尚 人
〃	遠軽地区広域組合佐呂間町消防団	副団長	森 尚 二	〃	渡島西部広域事務組合松前消防団	副団長	三 正 人
〃	札幌市厚別消防団	副団長	赤坂 陽一	〃	北留萌消防組合樺延町消防団	副団長	森 崎 英典
〃	日高東部消防組合えりも町消防団	副団長	池田 光昭	〃	旭川市消防団	副団長	森山 敏治
〃	留萌消防組合小平消防団	副団長	石 黒 徳	〃	北後志消防組合赤井川消防団	副団長	山 口 芳次
〃	上川北部消防事務組合下川消防団	副団長	伊 勇 一	〃	深川地区消防組合深川消防団	副団長	山 崎 次路
〃	滝川地区広域消防事務組合芦別消防団	副団長	大 高 枝	〃	胆振東部消防組合鶴川消防団	副団長	山崎 満教
〃	札幌市白石消防団	副団長	大 西 二三	〃	帯広市消防団	副団長	山 本 博文
〃	函館市南茅部消防団	副団長	加 我 富一	〃	北留萌消防組合羽幌消防団	副団長	吉 信 之
〃	南渡島消防事務組合鹿部消防団	副団長	加 富 猛	〃	根室北部消防事務組合中標津消防団	副団長	中 吉 信志
〃	胆振東部消防組合穂別消防団	副団長	菊 英 智	〃	岩見沢地区消防事務組合岩見沢消防団	分団長	若 川 弘市
〃	札幌市清田消防団	副団長	北 光 一郎	〃	胆振東部消防組合厚良消防団	分団長	石 橋 公昭
				〃	釧路東部消防組合釧路消防団	分団長	伊 東 巨貴

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
北海道	網走地区消防組合網走消防団	分団長	大 串 一彦	北海道	札幌市白石消防団	分団長	竹 馬 義則
〃	榊山広域行政組合せたな町瀬瀬消防団	分団長	大 天 正史	〃	釧路東部消防組合浜中消防団	分団長	立 花 隆夫
〃	豊頃消防団	分団長	小笠原 茂人	〃	根室北部消防事務組合海部消防団	分団長	友 友 義照
〃	釧路東部消防組合厚岸消防団	分団長	岡 田 素吉	〃	渡島西部広域事務組合木古内消防団	分団長	土 土 隆廣
〃	羊蹄山ろく消防組合ニセコ消防団	分団長	小 川 正志	〃	恵庭市消防団	分団長	中 隆 之
〃	根室北部消防事務組合標津消防団	分団長	開 坂 寿一	〃	浦幌町消防団	分団長	誤 名 夫
〃	旭川市消防団	分団長	加 藤 安広	〃	八雲町八雲消防団	分団長	古 澤 悟
〃	北後志消防組合横丹消防団	分団長	加 納 規	〃	恵庭市消防団	分団長	細 川 信義
〃	苫小牧市消防団	分団長	川 口 謙	〃	岩内・寿都地方消防組合岩内消防団	分団長	細 田 義廣
〃	日高西部消防組合日高消防団	分団長	菅 野 登	〃	稚内地区消防事務組合稚内消防団	分団長	松 岡 富雄
〃	上川北部消防事務組合美深消防団	分団長	菅 野 俊次	〃	小樽市消防団	分団長	橋 本 茂秋
〃	滝川地区広域消防事務組合赤平消防団	分団長	北 村 光明	〃	南宗谷消防組合枝幸消防団	分団長	松 本 彰
〃	大樽消防団	分団長	木 戸 良明	〃	日高西部消防組合平取消防団	分団長	丸 岡 弘
〃	登別市消防団	分団長	小 竹 善一	〃	留萌消防組合留萌消防団	分団長	中 浦 和泰
〃	釧路市消防団	分団長	小 林 恒男	〃	森町消防団	分団長	菅 川 毅
〃	稚内地区消防事務組合稚内消防団	分団長	坂 野 義樹	〃	南空知消防組合仁山消防団	分団長	山 良 樹
〃	砂川地区広域消防組合砂川消防団	分団長	坂 本 充生	〃	旭川市消防団	分団長	渡 辺 昭之
〃	砂川地区広域消防組合砂川消防団	分団長	佐藤 法広	〃	西胆振行政事務組合豊浦消防団	副分団長	加 藤 幸作
〃	札幌市西消防団	分団長	佐 藤 喜之	〃	江別市消防団	副分団長	木 村 正博
〃	夕張市消防団	分団長	澤 野 美	〃	利尻礼文消防事務組合礼文町消防団	副分団長	下 山 真司
〃	根室市消防団	分団長	下 茂 和	〃	釧路北部消防事務組合弟子屈町消防団	副分団長	中 澤 高行
〃	広尾町消防団	分団長	新 藤 敏春	〃	胆振東部消防組合安平消防団	副分団長	水 田 智康
〃	富良野広域連合南富良野消防団	分団長	野 橋 裕昭	〃	日高東部消防組合浦河町消防団	副分団長	日 田 隆隆
〃	斜里地区消防組合小清水消防団	分団長	高 橋 誠	〃	釧路北部消防事務組合標茶消防団	部長	田 信 行
〃	羊蹄山ろく消防組合俱知安消防団	分団長	高 山 秀夫	〃	釧路北部消防事務組合鶴居消防団	部長	藤 谷 守武
〃	旭川市消防団	分団長	武 山 尚志	〃	日高中部消防組合新冠消防団	団員	上 垣 瑠

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
青森県	弘前市消防団	副団長	石 喜 寛	青森県	つがる市消防団	分団長	齊 淳 一
〃	むつ市消防団	副団長	木 高 一郎	〃	平川市消防団	分団長	佐々木 晴 道
〃	大間町消防団	副団長	坂本 春 彦	〃	黒石市消防団	分団長	佐々木 野 智
〃	十和田市消防団	副団長	下山 高 雄	〃	つがる市消防団	分団長	佐々木 野 一
〃	十和田市消防団	副団長	須田山 俊 一	〃	深浦町消防団	分団長	砂子田 忠 次郎
〃	弘前市消防団	副団長	相馬 利 伸	〃	三戸町消防団	分団長	高松 和 勇
〃	弘前市消防団	副団長	高谷 治 治	〃	鶴田町消防団	分団長	高田 明 裕
〃	野辺地町消防団	副団長	田中 昭 利	〃	青森市浪岡消防団	分団長	田中 正 人
〃	七戸町消防団	副団長	岩橋 秀 春	〃	おいらせ町消防団	分団長	堤 秀 人
〃	弘前市消防団	副団長	前田 智 之	〃	東北町消防団	分団長	鶴ヶ崎 明 人
〃	むつ市消防団	副団長	松野 裕 一	〃	八戸市消防団	分団長	中村 憲 治
〃	南部町消防団	副団長	松村 純 一	〃	五所川原市消防団	分団長	成田 英 治
〃	田舎館村消防団	副団長	八木橋 宣 之	〃	むつ市消防団	分団長	二本柳 郁 一
〃	青森市青森消防団	副団長	山本 義 明	〃	階上町消防団	分団長	庭野 武 一
〃	平川市消防団	分団長	赤平 喜美子	〃	中泊町消防団	分団長	長谷川 敏 雄
〃	三沢市消防団	分団長	石ヶ森 桂 一	〃	沢田村消防団	分団長	畑 中 満
〃	平内町消防団	分団長	井筒 栄 一	〃	青森市青森消防団	分団長	花田 明 人
〃	五戸町消防団	分団長	岩館 清 亮	〃	藤崎町消防団	分団長	三上 道 一
〃	三戸町消防団	分団長	藤遠 広 之	〃	大野町消防団	分団長	三上 憲 一
〃	蓬田村消防団	分団長	小野 孝 一	〃	横浜町消防団	分団長	三津谷 昭 大
〃	佐井村消防団	分団長	川野 年 明	〃	西日屋村消防団	分団長	村上 上 雄
〃	田子町消防団	分団長	木崎 正 夫	〃	八戸市消防団	分団長	柳沢 谷 寛
〃	新郷村消防団	分団長	工藤 謙 一	〃	青森市青森消防団	分団長	柳 谷 聡
〃	南部町消防団	分団長	工藤 健 一	〃	南部町消防団	分団長	山田 弘 光
〃	六ヶ所村消防団	分団長	小泉 秋 広	〃	八戸市消防団	分団長	山田 信 一
〃	五所川原市消防団	分団長	小 勇 一	〃	黒石市消防団	分団長	雪 由 一

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
青森県	六戸町消防団	副分団長	吉田 誠 一	岩手県	奥州市消防団	分団長	野 祐 孝
〃	風間浦村消防団	部長	米井 隆 隆	〃	盛岡市消防団	分団長	熊谷 行 一
〃	今別町消防団	班長	越前 正 治	〃	一関市消防団	分団長	小岩 啓 治
岩手県	紫波町消防団	副団長	阿部 武 彦	〃	遠野市消防団	分団長	佐々木 英 一
〃	一戸町消防団	副団長	釜谷 敏 彦	〃	花巻市消防団	分団長	佐々木 忠 臣
〃	大船渡市消防団	副団長	釜野 剛 一	〃	久慈市消防団	分団長	佐々木 篤 也
〃	雫石町消防団	副団長	下山 正 一	〃	花巻市消防団	分団長	清水 隆 一
〃	滝沢市消防団	副団長	橋本 嘉 一	〃	平泉町消防団	分団長	菅原 東 一
〃	軽米町消防団	副団長	福田 喜代志	〃	山田町消防団	分団長	菅野 木 幸
〃	陸前高田市消防団	副団長	細谷 隆 夫	〃	一関市消防団	分団長	鈴木 木 一
〃	普代村消防団	副団長	宮下 富 夫	〃	盛岡市消防団	分団長	高橋 克 一
〃	花巻市消防団	分団長	朝倉 盛 夫	〃	西和賀町消防団	分団長	高橋 一 安
〃	花巻市消防団	分団長	浅沼 照 夫	〃	北上市消防団	分団長	高橋 博 一
〃	岩泉町消防団	分団長	阿部 剛 史	〃	北上市消防団	分団長	高橋 史 一
〃	紫波町消防団	分団長	阿部 弘 一	〃	田子町消防団	分団長	滝野 野 修
〃	久慈市消防団	分団長	阿部 一 宏	〃	宮古市消防団	分団長	藤谷 文 雄
〃	花巻市消防団	分団長	伊藤 忠 一	〃	盛岡市消防団	分団長	藤谷 勇 一
〃	久慈市消防団	分団長	宇部 金 吾	〃	奥州市消防団	分団長	千手 一 郎
〃	二戸市消防団	分団長	漆田 高 夫	〃	一関市消防団	分団長	千手 五 郎
〃	岩泉町消防団	分団長	天弓川 和 徳	〃	奥州市消防団	分団長	千手 業 一
〃	洋野町消防団	分団長	長川 敏 彦	〃	金ヶ崎町消防団	分団長	千手 雅 一
〃	奥州市消防団	分団長	小澤 靖 一	〃	遠野市消防団	分団長	留 良 直
〃	北上市消防団	分団長	加藤 喜 一	〃	宮古市消防団	分団長	居 正 勇
〃	八幡平市消防団	分団長	加藤 正 幸	〃	釜石市消防団	分団長	中居 克 一
〃	葛巻町消防団	分団長	上 力 也	〃	田子町消防団	分団長	中 和 洋
〃	九戸村消防団	分団長	河 敏 弘	〃	宮古市消防団	分団長	中 村 博 史

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
岩手県	宮古市消防団	分団長	馬場 寛 司	岩手県	岩手町消防団	副分団長	八戸 雄三
〃	盛岡市消防団	分団長	廣 正 美	〃	一関市消防団	副分団長	大井 浩 三
〃	奥州市消防団	分団長	山田 正 浩	〃	岩手町消防団	副分団長	三浦 新 吾
〃	盛岡市消防団	分団長	藤 村 文 夫	宮城県	仙台市青葉消防団	団長	佐藤 茂 吉
〃	矢巾町消防団	分団長	細 川 英 和	〃	柴田町消防団	団長	高橋 進 一
〃	八幡平市消防団	分団長	松 川 誠 之	〃	仙台市秋保消防団	団長	高野 賢 一
〃	久慈市消防団	分団長	向 山 英 一	〃	白石市消防団	副団長	我妻 一 雄
〃	盛岡市消防団	分団長	村 山 英 一	〃	石巻市消防団	副団長	阿部 義 信
〃	宮古市消防団	分団長	盛 合 淳	〃	登米市消防団	副団長	猪股 宗 市
〃	洋野町消防団	分団長	森 照 男	〃	東松島市消防団	副団長	内海 勇 藏
〃	野田村消防団	分団長	山口 和 弘	〃	七ヶ宿町消防団	副団長	梅津 賢 一
〃	遠野市消防団	分団長	山口 林 三	〃	七ヶ浜町消防団	副団長	遠 力
〃	宮古市消防団	分団長	山崎 政 幸	〃	仙台市秋保消防団	副団長	小野寺 幸 輔
〃	北上市消防団	副分団長	伊 澤 昭 二	〃	大崎町消防団	副団長	齊藤 俊 和
〃	一関市消防団	副分団長	猪 股 昭 二	〃	角田市消防団	副団長	齋藤 忠 夫
〃	遠野市消防団	副分団長	菊 池 保 彦	〃	登米市消防団	副団長	佐々木 良 浩
〃	一関市消防団	副分団長	小 吉 浩	〃	塩竈市塩竈消防団	副団長	佐藤 賢 治
〃	大槌町消防団	副分団長	小 松 則 明	〃	登米市消防団	副団長	佐藤 廉 信
〃	一関市消防団	副分団長	佐々木 隆 公	〃	大郷町消防団	副団長	佐藤 澄 夫
〃	釜石市消防団	副分団長	佐々木 英 夫	〃	川崎町消防団	副団長	菅 谷 大 見
〃	一関市消防団	副分団長	佐 藤 信 誠	〃	仙台市宮城野消防団	副団長	平 誠 一
〃	一関市消防団	副分団長	佐 藤 幸 親	〃	石巻市消防団	副団長	高橋 徳 明
〃	一関市消防団	副分団長	菅 原 英 夫	〃	石巻市消防団	副団長	高木 利 幸
〃	一関市消防団	副分団長	菅 明 弘	〃	大崎町消防団	副団長	日野 幸 市
〃	一関市消防団	副分団長	菅 清 一	〃	大和町消防団	副団長	江 江 夫
〃	一関市消防団	副分団長	子 業 志	〃	石巻市消防団	副団長	水 上 齊

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
宮城県	栗原市消防団	分団長	秋 山 和 昭	秋田県	北秋田市消防団	副団長	福 岡 仁
〃	加美町消防団	分団長	野 野 忠 之	〃	井川町消防団	副団長	福 田 一
〃	名取市消防団	分団長	荒 井 和 夫	〃	鹿角市消防団	分団長	山 幸 喜
〃	気仙沼市消防団	分団長	小野寺 君 男	〃	小坂町消防団	分団長	秋 本 英 彦
〃	栗原市消防団	分団長	軽 部 賢 治	〃	横手市消防団	分団長	奥 山 裕 寸
〃	栗原市消防団	分団長	熊 谷 徳 吉	〃	横手市消防団	分団長	榊 崎 豊 彦
〃	涌谷町消防団	分団長	後 藤 武 志	〃	秋田市消防団	分団長	鎌 田 正 博
〃	大崎市消防団	分団長	今 野 茂 宏	〃	大仙市消防団	分団長	川 原 敏 敏
〃	大崎市消防団	分団長	佐 藤 英 夫	〃	鹿角市消防団	分団長	木 村 隆 伸
〃	色麻町消防団	分団長	佐 藤 信 男	〃	由利本荘市消防団	分団長	木 村 伸 英
〃	大崎市消防団	分団長	佐 藤 陽 悦	〃	仙北市消防団	分団長	草 野 晃 雄
〃	栗原市消防団	分団長	菅 原 剛 一	〃	仙北市消防団	分団長	小 西 芳 雄
〃	岩沼市消防団	分団長	高 橋 哲 也	〃	八郎潟町消防団	分団長	金 今 野 彦
〃	女川町消防団	分団長	東 海 進 雄	〃	由利本荘市消防団	分団長	林 野 雄
〃	大河南町消防団	分団長	長 山 孝 好	〃	横手市消防団	分団長	近 近 寿
〃	気仙沼市消防団	分団長	村 上 剛 一	〃	五城目町消防団	分団長	佐 藤 誠 一
〃	蔵王町消防団	分団長	村 上 浩 信	〃	東成瀬村消防団	分団長	佐々木 芳 雄
〃	南三陸町消防団	分団長	山内 浩 之	〃	男鹿市消防団	分団長	藤 藤 靖 隆
〃	富谷市消防団	副分団長	伊 藤 英 幸	〃	大船市消防団	分団長	佐 藤 善 隆
〃	美里町消防団	副分団長	後 藤 和 男	〃	大仙市消防団	分団長	佐 藤 春 夫
秋田県	八峰町消防団	団長	菅 清 幸 雄	〃	北秋田市消防団	分団長	菅 原 自 昭
〃	秋田市消防団	団長	水 澤 靖 雄	〃	能代市消防団	分団長	杉 洞 宏
〃	潟上市消防団	副団長	伊 藤 力 一	〃	秋田市消防団	分団長	鈴 木 清 博
〃	北秋田市消防団	副団長	木 村 謙 一	〃	横手市消防団	分団長	鈴 木 謙 浩
〃	大館市消防団	副団長	佐 藤 良 二	〃	大湯村消防団	分団長	鈴 木 太 夫
〃	能代市消防団	副団長	富 山 昭 一	〃	羽後町消防団	分団長	瀬 川 隆 彦

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
秋田県	大仙市消防団	分団長	高橋 雅之	山形県	大蔵村消防団	分団長	荒瀬 浩彦
〃	秋田市消防団	分団長	田中 重之	〃	河北町消防団	分団長	宇野 和彦
〃	鹿角市消防団	分団長	中野 実	〃	大江町消防団	分団長	大谷 幸幸
〃	横手市消防団	分団長	中山 清	〃	戸沢村消防団	分団長	加藤 亮憲
〃	美郷町消防団	分団長	中山 貞義	〃	長井市消防団	分団長	金子 善一
〃	男鹿市消防団	分団長	原 由希	〃	酒田市消防団	分団長	日下部 祐一
〃	秋田市消防団	分団長	古井 啓司	〃	真室川町消防団	分団長	香澤 真司
〃	藤里町消防団	分団長	細田 隆一	〃	戸沢村消防団	分団長	齊藤 輝仁
〃	にかほ市消防団	分団長	三浦 仁	〃	庄内町消防団	分団長	佐々木 秀
〃	三種町消防団	分団長	三浦 雄幸	〃	上市市消防団	分団長	佐藤 幸幸
〃	由利本荘市消防団	分団長	村上 康浩	〃	真室川町消防団	分団長	杉原 彦彦
〃	男鹿市消防団	分団長	柳原 広	〃	鶴岡市消防団	分団長	田村 正芳
〃	秋田市消防団	分団長	山田 雄	〃	村山市消防団	分団長	西正 登
〃	横手市消防団	分団長	米澤 久彦	〃	舟形町消防団	分団長	野尻 和彦
〃	大館市消防団	副分団長	阿部 司	〃	鮭川村消防団	分団長	堀米 太
〃	湯沢市消防団	副分団長	押切 明	〃	西川町消防団	分団長	松田 淳一郎
〃	由利本荘市消防団	副分団長	金子 達	〃	山辺町消防団	分団長	峯田 忍
〃	由利本荘市消防団	副分団長	東海林 隆幸	〃	川西町消防団	分団長	野田 隆
〃	大館市消防団	副分団長	杉乾 一郎	〃	米沢市消防団	副分団長	天野 久仁彦
〃	大仙市消防団	副分団長	富久 勇	〃	南陽市消防団	副分団長	江口 信
〃	大仙市消防団	副分団長	吉屋 初	〃	庄内町消防団	副分団長	加藤 皇
山形県	白鷹町消防団	副団長	児玉 秀朗	〃	村山市消防団	副分団長	斉藤 弘昭
〃	鶴岡市消防団	副団長	齋藤 直道	〃	鶴岡市消防団	副分団長	佐藤 仁一
〃	遊佐町消防団	副団長	鈴木 聖春	〃	酒田市消防団	副分団長	高橋 将人
〃	天童市消防団	副団長	滝口 雅一	〃	酒田市消防団	部長	石山 弘一
〃	新庄市消防団	分団長	向部 欽也	〃	新庄市消防団	部長	伊藤 良一

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
山形県	尾花沢市消防団	部長	柴崎 安雄	福島県	田村市消防団	副団長	小石沢 吉展
〃	寒河江市消防団	部長	原田 淳	〃	田村市消防団	副団長	小林 勝雄
〃	小国町消防団	班長	舟山 豊幸	〃	須賀川市消防団	副団長	小林 徹
〃	酒田市消防団	団員	阿部 弘昭	〃	中島村消防団	副団長	小川 忠
〃	山形市消防団	団員	阿部 修次	〃	二本松市消防団	副団長	鈴木 朝裕
〃	最上町消防団	団員	伊藤 正一	〃	鏡石町消防団	副団長	鈴木 勝
〃	飯豊町消防団	団員	井上 義一	〃	猪苗代町消防団	副団長	野本 真吾
〃	金山町消防団	団員	梅津 敏	〃	白河市消防団	副団長	江崎 光憲
〃	山形市消防団	団員	山口 裕之	〃	古殿町消防団	副団長	野野 幸
〃	尾花沢市消防団	団員	大山 祐近	〃	南会津町消防団	副団長	宮崎 博之
〃	鶴岡市消防団	団員	小田 夫	〃	南会津町消防団	分団長	阿久津 介
〃	寒河江市消防団	団員	國井 順也	〃	福島市消防団	分団長	香妻 久隆
〃	小国町消防団	団員	今清 一	〃	相馬市消防団	分団長	磯部 忠清
〃	中山町消防団	団員	今野 俊也	〃	喜多方市消防団	分団長	磯部 淳
〃	鮭川村消防団	団員	佐藤 和也	〃	いわき市消防団	分団長	天井川 守
〃	最上町消防団	団員	高崎 香	〃	下郷町消防団	分団長	大沼 洋一
〃	山形市消防団	団員	高橋 弥弥	〃	会津若松市消防団	分団長	加藤 新
〃	東根市消防団	団員	東海林 牧人	〃	郡山市消防団	分団長	高澤 靖宏
〃	新庄市消防団	団員	東海林 実穂	〃	桑折町消防団	分団長	杉本 隆文
〃	大石町消防団	団員	戸田 昇	〃	二本松市消防団	分団長	斎藤 敏朗
〃	米沢市消防団	団員	渡部 隆一	〃	富岡町消防団	分団長	早坂 政広
福島県	田村市消防団	副団長	石井 武彦	〃	いわき市消防団	分団長	坂本 憲弘
〃	郡山市消防団	副団長	今泉 敏	〃	いわき市消防団	分団長	佐藤 耕仁
〃	白河市消防団	副団長	天竹 仁	〃	いわき市消防団	分団長	佐藤 信広
〃	喜多方市消防団	副団長	川原田 幸	〃	大熊町消防団	分団長	菅原 淳
〃	須賀川市消防団	副団長	熊谷 勝幸	〃	いわき市消防団	分団長	高木 晃平

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名	
福島県	北塩原村消防団	分団長	高野 忠弘	福島県	下郷町消防団	団員	山崎 普	
	大熊町消防団	分団長	多田 幸一		いわき市消防団	団員	吉田 明広	
	小野町消防団	分団長	山本 英一		いわき市消防団	団員	西ヶ倉 隆	
	会津若松市消防団	分団長	塚本 祐喜		いわき市消防団	団員	西ヶ倉 輝男	
	いわき市消防団	分団長	堀江 正重		茨城県	石岡市消防団	団長	櫻井 健
	いわき市消防団	分団長	松本 正樹			桜川市消防団	副団長	野村 和包
	いわき市消防団	分団長	内藤 順一郎			那珂市消防団	副団長	片岡 満
	新地町消防団	分団長	横山 智弘			つくば市消防団	副団長	木村 敏
	国見町消防団	分団長	横渡 勝			鉦田市消防団	副団長	久保田 豊
	いわき市消防団	副分団長	大野 正志			つくば市消防団	副団長	倉持 正仁
	富岡町消防団	副分団長	谷口 浩光			筑西市消防団	副団長	栗原 浩
	西会津町消防団	部長	五十嵐 啓			河内町消防団	副団長	古手 泰貴
	西会津町消防団	班長	五十嵐 勝			小美玉市消防団	副団長	小原 浩
	いわき市消防団	班長	齋藤 一			常総市消防団	副団長	齋藤 佐登志
	浪江町消防団	班長	佐藤 高武			利根町消防団	副団長	杉山 史
	西会津町消防団	班長	三浦 常政			筑西市消防団	副団長	坪井 弥
	棚倉町消防団	班長	藤原 茂			日立市消防団	副団長	友部 巖美
	下郷町消防団	班長	星野 光			土浦市消防団	副団長	中野 賢人
	富岡町消防団	団員	梅田 義弘			取手市消防団	副団長	前野 治信
	いわき市消防団	団員	國岡 正一			行方市消防団	副団長	森崎 正晴
金山町消防団	団員	城善 浩	桜川市消防団	副団長		山口 伸		
下郷町消防団	団員	佐藤 公生	八千代町消防団	副団長		中津 利明		
いわき市消防団	団員	高木 一夫	常陸大宮市消防団	分団長		相道 史		
柳津町消防団	団員	三瓶 武義	城里町消防団	分団長		大越 信之		
いわき市消防団	団員	本田 康弘	高萩市消防団	分団長	大部 吉仁			
昭和村消防団	団員	本名 敬	石岡市消防団	分団長	岡野 光			

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名	
茨城県	笠間市消防団	分団長	高野 智一	栃木県	小山市消防団	副団長	長谷部 厚志	
	かすみがうら市消防団	分団長	近藤 孝一		大田原市消防団	副団長	花塚 隆一	
	かすみがうら市消防団	分団長	佐久 定規		那珂川町消防団	副団長	山崎 隆昌	
	古河市消防団	分団長	木村 英之		日光市栗山消防団	副団長	山口 一	
	茨城町消防団	分団長	鈴木 強志		小山市消防団	副団長	吉田 勇	
	常陸大宮市消防団	分団長	益子 修一		栃木市消防団	分団長	藤原 利行	
	水戸市消防団	分団長	薬師神 一齋		群馬県	みどり市消防団	団長	藤原 剛
	龍ヶ崎市消防団	分団長	山下 也			玉村町消防団	団長	神田 一也
	水戸市消防団	分団長	山戸 浩治			伊勢崎市消防団	副団長	浅見 誠
	大洗町消防団	部長	関根 一彦			安中市消防団	副団長	榎田 博
	常陸太田市消防団	団員	大澤 洋一			高崎市消防団	副団長	小池 浩治
	行方市消防団	団員	萩原 祐一			大泉町消防団	副団長	佐藤 雄二
	大子町消防団	団員	角政 義司			館林地区消防組合千代田消防団	副団長	鈴木 唯夫
	守谷市消防団	団員	小竹 俊			高崎市消防団	副団長	富田 莊司
	常陸太田市消防団	団員	平根 信			中之条町消防団	副団長	福田 公雄
	ひたちなか市消防団	団員	前田 大			前橋市消防団	副団長	藤原 徹也
	神栖市消防団	団員	丸根 賢一			沼田市消防団	分団長	青木 明
	北茨城市消防団	団員	緑川 次			太田市消防団	分団長	内田 登
	神栖市消防団	団員	山本 幸雄			草津町消防団	分団長	山崎 健次
	栃木県	鹿沼市消防団	団長			小太刀 昭	埼玉県	飯能消防団
高根沢町消防団		団長	小林 修	小鹿野町消防団		団長	坂本 清文	
壬生町消防団		団長	戸崎 志夫	三郷市消防団		団長	高根 也	
益子町消防団		団長	法師 和哉	所沢市消防団		副団長	加藤 泰道	
那珂川町消防団		副団長	大田 弘政	加須市消防団		副団長	川村 宏	
佐野市消防団		副団長	川崎 清彦	比企広域市町村圏組合滑川消防団		副団長	神田 克彦	
佐野市消防団		副団長	長尾 桂	秩父市消防団		副団長	小石川 康彦	

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名	
埼玉県	新座市消防団	副団長	小泉 哲也	埼玉県	戸田市消防団	副分団長	小山 正徳	
	深谷市消防団	副団長	高橋 秀男		白岡市消防団	副分団長	田口 健一	
	横瀬町消防団	副団長	田口 昭昭		加須市消防団	副分団長	田口 功二	
	春日部市春日部消防団	副団長	野村 一寿		志木市消防団	副分団長	野村 功之彦	
	さいたま市消防団	分団長	小井川 光宏		蕨市消防団	副分団長	森 雅彦	
	上尾市消防団	分団長	岡野 順好		熊谷市消防団	副分団長	八木 敏雄	
	川口市消防団	分団長	小川 勝士		春日部市庄和消防団	副分団長	山口 武徳	
	行田市消防団	分団長	野村 哲士		熊谷市消防団	班長	瀬川 勉	
	川口市消防団	分団長	岸部 貴幸		吉川市消防団	団員	藤井 正幸	
	志木市消防団	分団長	木下 武三		さいたま市消防団	団員	斎藤 実	
	さいたま市消防団	分団長	原 信治		吉川市消防団	団員	鈴木 純	
	羽生市消防団	分団長	齋藤 孝一		千葉県	袖ヶ浦市消防団	団長	山本 幸雄
	久喜市消防団	分団長	島根 一人			香取広域市町村圏事務組合	副団長	藤井 敏明
	古川市消防団	分団長	島根 聖人			多古町消防団	副団長	青木 敏人
	熊谷市消防団	分団長	根岸 倉一郎			鎌ヶ谷市消防団	副団長	新井 伸史
	行田市消防団	分団長	春田 雄一			横芝光町消防団	副団長	伊藤 剛史
	幸手市消防団	分団長	樋口 孝治			市川市消防団	副団長	梅澤 伸治
	熊谷市消防団	分団長	福田 豊道			南房総市消防団	副団長	加藤 史史
	行田市消防団	分団長	松崎 秀行			南房総市消防団	副団長	小笠原 剛史
	川口市消防団	分団長	三浦 史仁			市原市消防団	副団長	斎藤 仁
川口市消防団	分団長	菅 弘和	南房総市消防団	副団長		佐久間 真一		
菅野町消防団	分団長	菅前 清三	香取広域市町村圏事務組合	副団長	塚本 正明			
川口市消防団	副分団長	宮岩 由義	香取市消防団	副団長	高橋 正正			
越谷市消防団	副分団長	植竹 勤	九十九里町消防団	副団長	高橋 泰勇			
戸田市消防団	副分団長	大山 広也	柏市消防団	副団長	中村 智也			
和光市消防団	副分団長	小松 正広	東金市消防団	副団長	中村 智也			
			佐倉市消防団	副団長	藤井 隆良			

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
千葉県	千葉市消防団	副団長	松本 英明	東京都	国立市消防団	団長	北島 基和
	市原市消防団	副団長	深田 清一		東村山市消防団	団長	竹村 元安
	長生郡市広域市町村圏組合消防団	副団長	杉野 實博		小金井市消防団	団長	細川 裕一
	八千代市消防団	副団長	村田 一寛		武蔵村山市消防団	副団長	細川 好男
	市川市消防団	副団長	湯浅 光人		志村消防団	副団長	池田 好博
	山武市消防団	分団長	小川 敏文		武蔵野市消防団	副団長	伊藤 博通
	印西市消防団	分団長	鈴木 正裕		牛込消防団	副団長	上田 智吉
	八街市消防団	分団長	富野 弘広		光が丘消防団	副団長	内田 谷浩
	船橋市消防団	分団長	平野 正彦		品川消防団	副団長	大野 敏哉
	九十九里町消防団	分団長	古川 信一		野方消防団	副団長	大野 正一
	印西市消防団	分団長	稲田 倫明		武蔵野市消防団	副団長	小野山 武男
	印西市消防団	分団長	森田 伊和		小岩消防団	副団長	小泉 和久
	流山市消防団	分団長	山田 和行		多摩市消防団	副団長	佐伯 哉司
	勝浦市消防団	副分団長	中村 篤司		日本堤消防団	副団長	鈴木 木司
	市川市消防団	班長	内田 栄一		麹町消防団	副団長	鈴木 木司
	四街道市消防団	班長	岡田 植久		矢口消防団	副団長	高木 木司
	我孫子市消防団	班長	鈴木 木司		目黒消防団	副団長	高木 木司
	四街道市消防団	班長	花崎 博義		世田谷消防団	副団長	高杉 勝一
	八街市消防団	班長	吉野 正繁		杉並消防団	副団長	高杉 勝一
	酒々井町消防団	団員	相模 京彦		荻窪消防団	副団長	高杉 勝一
栄町消防団	団員	大野 成俊	西新井消防団	副団長	高山 延之		
勝浦市消防団	団員	長井 幸幸	石神井消防団	副団長	田中 裕		
白井市消防団	団員	川鍋 修	成城消防団	副団長	上野 裕		
鎌子市消防団	団員	篠塚 在良	上野消防団	副団長	上野 裕		
酒々井町消防団	団員	鶴田 剛	城東消防団	副団長	中野 樹		
白井市消防団	団員	山崎 昌志	檜原村消防団	副団長	中野 樹		

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
東京都	足立消防団	副団長	長 範 光	東京都	大森消防団	分団長	田 丸 敦 夫
〃	金町消防団	副団長	中 原 克 巳	〃	八王子市消防団	分団長	武 内 辰 幸
〃	千住消防団	副団長	沼 尻 哲 男	〃	本郷消防団	分団長	脇 藤 繁 和
〃	荒川消防団	副団長	本 根 徳 幸	〃	豊島消防団	分団長	野 本 渉
〃	深川消防団	副団長	尾 崎 裕 幸	〃	八丈町消防団	分団長	岡 仁 田 聡
〃	本所消防団	副団長	菅 澤 子	〃	玉川消防団	分団長	菅 田 直 治
〃	奥多摩町消防団	副団長	原 高 克 弘	〃	神田消防団	分団長	望 月 正
〃	江戸川消防団	副団長	平 田 光 雄	〃	町田市消防団	分団長	森 下 至 夫
〃	八王子市消防団	副団長	堀 雄 介	〃	田園調布消防団	分団長	山 下 雅 夫
〃	本田消防団	副団長	益 子 意 一	〃	浅草消防団	分団長	萬 勝 巳
〃	王子消防団	副団長	松 本 心 子	〃	葛西消防団	団員	高 見 一郎
〃	板橋消防団	副団長	松 山 浩 哉	神奈川県	厚木市消防団	団長	川 田 啓 郎
〃	渋谷消防団	副団長	丸 山 高 尚	〃	清川村消防団	団長	小 高 尚 徳
〃	滝野川消防団	副団長	武 藤 静 男	〃	大和市消防団	副団長	阿 部 勉
〃	府中市消防団	副団長	村 井 雅 一	〃	三浦市消防団	副団長	石 橋 慎 一
〃	尾久消防団	副団長	村 松 恒 至	〃	横浜市加賀町消防団	副団長	井 上 守 和
〃	荏原消防団	副団長	吉 田 敬 一	〃	逗子市消防団	副団長	小 沢 正 和
〃	日本橋消防団	分団長	赤 岡 博 幸	〃	秦野市消防団	副団長	小 山 誠 三
〃	新宿消防団	分団長	赤 秋 正 幸	〃	横浜市伊勢佐木消防団	副団長	黒 柳 祥 子
〃	蒲田消防団	分団長	浅 井 良 広	〃	湯河原町消防団	副団長	寺 田 政 雄
〃	京橋消防団	分団長	伊 藤 修 雄	〃	相模原市消防団	副団長	野 口 淳
〃	向島消防団	分団長	伊 藤 良 雄	〃	逗子市消防団	副団長	矢 島 明 一
〃	池袋消防団	分団長	神 林 幹 雄	〃	相模原市消防団	副団長	相 川 幸 一
〃	赤坂消防団	分団長	神 岸 寿 夫	〃	横浜市金沢消防団	分団長	相 川 明 範
〃	臨港消防団	分団長	金 須 正 明	〃	横浜市港南消防団	分団長	相 澤 正 明
〃	四谷消防団	分団長	小 濱 武 志	〃	横浜市緑消防団	分団長	芦 原 昌 夫

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
神奈川県	横浜市港南消防団	分団長	市 村 和 浩	神奈川県	横浜市伊勢佐木消防団	分団長	邊 見 伸 一
〃	横浜市港北消防団	分団長	伊 藤 弘 弘	〃	川崎市川崎消防団	分団長	松 本 真 次
〃	川崎市中原消防団	分団長	猪 股 昌 美	〃	秦野市消防団	分団長	岡 原 量 一
〃	横浜市緑消防団	分団長	今 井 保 生	〃	横浜市青葉消防団	分団長	八 木 直 人
〃	横須賀市消防団	分団長	井 本 孝 学	〃	横浜市栄消防団	分団長	山 岸 正 孝
〃	横浜市神奈川消防団	分団長	内 田 勝 美	〃	川崎市臨港消防団	分団長	横 森 久 雄
〃	横浜市金沢消防団	分団長	澤 主 昌 浩	〃	川崎市宮前消防団	分団長	吉 田 清 之
〃	横浜市都筑消防団	分団長	金 子 昭 雄	〃	横浜市南消防団	分団長	渡 邊 尚 高
〃	川崎市麻生消防団	分団長	鴨 志 田 義 一	〃	横浜市山手消防団	分団長	野 川 義 昭
〃	逗子市消防団	分団長	桐 ヶ 谷 孝 一	〃	横浜市瀬谷消防団	副分団長	相 澤 正 夫
〃	横浜市旭消防団	分団長	草 柳 昭 彦	〃	横浜市泉消防団	副分団長	安 西 遠 男
〃	横浜市戸塚消防団	分団長	小 泉 春 海	〃	横浜市旭消防団	副分団長	早 乙 女 定 一
〃	横浜市戸塚消防団	分団長	三 枝 木 正 夫	〃	横浜市南消防団	副分団長	崎 崎 秀 一
〃	横浜市西消防団	分団長	白 駒 利 和	〃	横浜市都筑消防団	副分団長	仲 野 崇 明
〃	横須賀市消防団	分団長	杉 山 真 一	〃	横浜市保土ヶ谷消防団	副分団長	長 野 幸 一
〃	横須賀市消防団	分団長	野 木 孝 秀	〃	横浜市磯子消防団	副分団長	藤 本 昌 樹
〃	川崎市高津消防団	分団長	鈴 木 雄 雄	〃	横浜市神奈川消防団	部長	三 枝 直 康
〃	横浜市西消防団	分団長	関 口 強 志	〃	藤沢市消防団	部長	佐 藤 貴 弘
〃	横浜市瀬谷消防団	分団長	曾 根 隆 志	〃	茅ヶ崎市消防団	部長	佐 野 貴 茂
〃	鎌倉市消防団	分団長	田 見 健 一	〃	横浜市鶴見消防団	部長	塚 田 幸 彦
〃	茅ヶ崎市消防団	分団長	津 田 真 利	〃	藤沢市消防団	部長	島 修 一
〃	横浜市磯子消防団	分団長	永 水 次 郎	〃	藤沢市消防団	団員	板 橋 政 芳
〃	横浜市栄消防団	分団長	長 谷 雅 明	〃	小田原市消防団	団員	杉 山 直 也
〃	横浜市港北消防団	分団長	中 山 勉 樹	〃	小田原市消防団	団員	高 直 樹
〃	川崎市幸消防団	分団長	成 川 幸 一	新潟県	聖籠町消防団	副団長	阿 部 孝 平
〃	平塚市消防団	分団長	原 由 一	〃	長岡市消防団	副団長	石 原 龍 一

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
新潟県	阿賀町消防団	副団長	伊藤 昭夫	新潟県	燕市消防団	分団長	清水 巳巳
〃	佐渡市消防団	副団長	梅澤 和健	〃	新潟市消防団	分団長	清水 和義
〃	村上市消防団	副団長	加藤 辰博	〃	佐渡市消防団	分団長	鈴木 木郎
〃	津南町消防団	副団長	金子 敦	〃	阿賀野市消防団	分団長	高橋 幸樹
〃	小千谷市消防団	副団長	久賀 透	〃	新潟市消防団	分団長	高橋 幸治
〃	長岡市消防団	副団長	藤原 利	〃	弥彦村消防団	分団長	高橋 幸之
〃	新潟市消防団	副団長	藤原 敏也	〃	小千谷市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	三条市消防団	副団長	藤原 敏也	〃	糸魚川市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	長岡市消防団	分団長	藤原 敏也	〃	新潟市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	糸魚川市消防団	分団長	伊藤 一彦	〃	新潟市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	新潟市消防団	分団長	桶井 哲也	〃	妙高市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	長岡市消防団	分団長	猪股 竜太郎	〃	佐渡市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	新発田市消防団	分団長	猪股 竜太郎	〃	加茂市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	長岡市消防団	分団長	猪股 竜太郎	〃	新潟市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	湯沢町消防団	分団長	岸野 裕二	〃	新潟市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	糸魚川市消防団	分団長	木崎 純	〃	佐渡市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	糸魚川市消防団	分団長	倉谷 裕樹	〃	佐渡市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	長岡市消防団	分団長	半藤 雄美	〃	妙高市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	新潟市消防団	分団長	柳 雅美	〃	佐渡市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	佐渡市消防団	分団長	齋 須一弥	〃	上越市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	新発田市消防団	分団長	齋 藤 卓	〃	新潟市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	新発田市消防団	分団長	齋 藤 正栄	〃	五泉市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	田上町消防団	分団長	齋 藤 宗弘	〃	新潟市消防団	分団長	高橋 幸之
〃	長岡市消防団	分団長	坂牧 龍流	〃	柏崎市消防団	副分団長	高橋 幸之
〃	長岡市消防団	分団長	佐藤 由尚	〃	南魚沼市消防団	副分団長	高橋 幸之
〃	新潟市消防団	分団長	島 秀男	〃	新潟市消防団	副分団長	高橋 幸之

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
新潟県	柏崎市消防団	部長	樋口 明夫	富山県	高岡市消防団	分団長	金 清
〃	見附市消防団	部長	渡邊 純一	〃	富山市消防団	分団長	喜多 伸吉
〃	柏崎市消防団	班長	須田 夫	〃	射水市消防団	分団長	高橋 正人
〃	十日町市消防団	班長	福原 謙功	〃	水見市消防団	分団長	中野 志
〃	柏崎市消防団	班長	村田 功	〃	立山町消防団	分団長	堀田 進
〃	柏崎市消防団	団員	石塚 仁彦	〃	射水市消防団	分団長	松本 光夫
〃	十日町市消防団	団員	小野塚 康彦	〃	魚津市消防団	分団長	宮崎 裕
〃	出雲崎町消防団	団員	金 泉 正人	〃	高岡市消防団	分団長	森田 光男
〃	胎内市消防団	団員	柳 生 忍	〃	射水市消防団	分団長	森田 光男
〃	十日町市消防団	団員	佐藤 重幸	石川県	志賀町消防団	副団長	青 山 龍幸
〃	十日町市消防団	団員	高橋 重幸	〃	小松市消防団	副団長	石田 直樹
〃	十日町市消防団	団員	高橋 豊和	〃	穴水町消防団	副団長	加藤 信幸
〃	柏崎市消防団	団員	米山 忠和	〃	珠洲市消防団	副団長	新谷 豊
富山県	富山市消防団	副団長	荒木 博	〃	金沢市第二消防団	副団長	中 中
〃	富山市消防団	副団長	澤 浩次	〃	かほく市消防団	副団長	平 仁司
〃	砺波市消防団	副団長	鈴木 行雄	〃	津幡町消防団	副団長	菅 裕一
〃	富山市消防団	副団長	鈴木 行雄	〃	金沢市第一消防団	副団長	菅 裕一
〃	富山市消防団	副団長	谷 政人	〃	能美市消防団	分団長	岡 哲司
〃	黒部市消防団	副団長	中 義	〃	白山市消防団	分団長	小 堀 稔
〃	富山市消防団	副団長	橋爪 義彦	〃	羽咋市消防団	分団長	堀 康彦
〃	富山市消防団	副団長	羽根 伸治	〃	七尾市消防団	分団長	堀 康彦
〃	立山町消防団	分団長	新 昭夫	〃	能登町消防団	分団長	高 政一
〃	黒部市消防団	分団長	飯 田 忍	〃	白山市南消防団	分団長	江 剛
〃	高岡市消防団	分団長	飯 田 春幸	〃	宝達志水町消防団	副分団長	江 剛
〃	高岡市消防団	分団長	飯 田 善明	〃	輪島市消防団	副分団長	江 剛
〃	高岡市消防団	分団長	飯 田 清志	福井県	若狭消防組合小浜消防団	団長	松井 繁明

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名	
福井県	勝山市消防団	副団長	池田 義則	山梨県	上野原市消防団	班長	奥田 良一	
	南越消防組合南越前消防団	副団長	嶋崎 誠一郎		甲府市消防団	班長	奥金丸 正安	
	嶺北消防組合坂井消防団	副団長	前川 龍二		上野原市消防団	団員	上條 恭一	
	大野市消防団	副団長	水尻 交		甲府市消防団	団員	窪田 正博	
	永平寺町消防団	副団長	吉秀 秀		甲府市消防団	団員	佐野 幸男	
	南越消防組合越前市消防団	分団長	伊井 和		甲府市消防団	団員	水田 忠勇	
	福井市消防団	分団長	塚義 幸		長野県	売木村消防団	団長	奥田 勝彦
	敦賀美方消防組合敦賀消防団	分団長	増田 正		池田町消防団	団長	片瀬 潤	
	勝山市消防団	分団長	水野 忠範		小川村消防団	団長	久保田 樹司	
	福井市消防団	分団長	山口 武雄		木祖村消防団	団長	笹川 政義	
	福井市消防団	分団長	山克 剛		上松町消防団	団長	澤木 良太郎	
	大野市消防団	分団長	米村 栄一		下諏訪町消防団	団長	清水 正也	
	鯖江・丹生消防組合鯖江消防団	団員	西田 治		玉滝村消防団	団長	山内 近	
	山梨県	甲州市消防団	団長		佐藤 正	佐久穂町消防団	団長	水井 和豪
市川三郷町消防団		団長	関喜 彦	南相木村消防団	団長	中島 俊		
甲斐市消防団		副団長	岩向 幸	小谷村消防団	団長	深澤 慎		
甲府市消防団		副団長	長祐 二	安曇野市消防団	副団長	内川 正明		
北杜市消防団		副団長	神宮司 崇史	松本市消防団	副団長	大塚 達安		
中央市消防団		副団長	塚田 崇史	筑北村消防団	副団長	関川 光寿		
北杜市消防団		副団長	中野 勇次	塩尻市消防団	副団長	中野 清志		
上野原市消防団		副団長	安井 雅	松本市消防団	副団長	細川 政俊		
上野原市消防団		分団長	梶原 明	木島平村消防団	副団長	細山崎 三吾		
甲府市消防団		分団長	中田 裕仁	筑北村消防団	副団長	山崎 利隆		
甲府市消防団		分団長	林美 行	長野市消防団	分団長	北村 隆		
甲府市消防団		副分団長	長田 好	長野市消防団	分団長	高坂 樹		
甲府市消防団		部長	小澤 篤	佐久市消防団	分団長	小和 和也		

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
長野県	長野市消防団	分団長	小林 保治	岐阜県	郡上市消防団	副団長	田中 康裕
	長野市消防団	分団長	曾根 正昭		多治見市消防団	副団長	中山 俊波
	佐久市消防団	分団長	高柳 秀樹		高山市消防団	副団長	洞水 宏樹
	長野市消防団	分団長	竹元 数		高山市消防団	副団長	山口 誠
	長野市消防団	分団長	寺尾 安生		岐阜市消防団	分団長	石川 隆太
	長野市消防団	分団長	梅田 久		高山市消防団	分団長	津丸 良一
	佐久市消防団	分団長	中野 幸		飛騨市消防団	分団長	迫本 浩
	長野市消防団	分団長	柳澤 武彦		飛騨市消防団	分団長	川上 修二
	長野市消防団	班長	高木 喜久夫		岐阜市中消防団	分団長	川村 利彦
	長野市消防団	団員	駒込 秀之		高山市消防団	分団長	小長谷 勇次
	東御市消防団	団員	小山 貴住		瑞穂市消防団	分団長	棚瀬 弘
	千曲市消防団	団員	平林 国広		岐阜市中消防団	分団長	榎川 清人
	長野市消防団	団員	矢野 正徳		東白川村消防団	分団長	井土 啓也
	岐阜県	八百津町消防団	団長		林邦 和	関市消防団	分団長
神戸町消防団		副団長	福川 方規	中津川市消防団	分団長	早川 敏郎	
大垣市消防団		副団長	子爵 尚	高山市消防団	分団長	戸部 夫	
大垣市消防団		副団長	大橋 和仁	岐阜市中消防団	分団長	藤田 隆明	
羽島市消防団		副団長	大橋 秀朝	高山市消防団	分団長	高田 勇	
中津川市消防団		副団長	小曾 栄	高山市消防団	分団長	三富 士夫	
瑞浪市消防団		副団長	小栗 和寿	多治見市消防団	分団長	山田 誠彦	
恵那市消防団		副団長	可知 幸祐	中津川市消防団	分団長	吉村 忠祐	
北方町消防団		副団長	木野村 芳孝	郡上市消防団	分団長	和田 和也	
中津川市消防団		副団長	後藤 勝也	清水町消防団	副団長	伊藤 忠彦	
郡上市消防団		副団長	小森 雅	熱海市消防団	副団長	藤村 則	
中津川市消防団		副団長	阪長 牟	湖西市消防団	副団長	尾崎 俊也	
飛騨市消防団		副団長	由口 郁子	静岡県	静岡市消防団	副団長	尾崎 行雄

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
静岡県	三島市消防団	副団長	小野 政一	愛知県	名古屋市成章消防団	団長	村上 輝
	吉田町消防団	副団長	小野 章一		名古屋市南押切消防団	団長	吉田 耕
	富士市消防団	副団長	早房 茂一		小牧市消防団	分団長	浅野 勇
	島田市消防団	副団長	増本 利一		一宮市消防団	分団長	田中 誠
	静岡市消防団	副団長	山田 利一		清須市消防団	副分団長	浅井 泰博
	浜松市消防団	分団長	石井 剛司		一宮市消防団	副分団長	尾島 弘
	静岡市消防団	分団長	大滝 隆哉		豊田市消防団	部長	安田 崇
	静岡市消防団	分団長	田中 博		大治町消防団	部長	山田 誠
	富士市消防団	分団長	藤田 道信		大治町消防団	班長	立直 樹
	小山町消防団	分団長	藤曲 喜久		安城市消防団	班長	草川 英樹
	富士宮市消防団	分団長	松浦 武彦		江南市消防団	団員	伊神 雅之
	沼津市消防団	班長	松波 千秋		岩倉市消防団	団員	石井 竹詞
	伊東市消防団	団員	石田 勝次		大治町消防団	団員	伊藤 隆
	三島市消防団	団員	後藤 実裕		刈谷市消防団	団員	岩田 芳尚
藤枝市消防団	団員	佐藤 英	扶桑町消防団	団員	江口 弘幸		
沼津市消防団	団員	西尾 英	一宮市消防団	団員	大蔵 芳幸		
愛知県	名古屋市梅森坂消防団	団長	阿部 俊二	大治町消防団	団員	奥村 誠	
	名古屋市西味鏡消防団	団長	飯田 直孝	一宮市消防団	団員	藤原 充彦	
	名古屋市の倉消防団	団長	飯桶 居彦	一宮市消防団	団員	柴垣 光彦	
	名古屋市道徳消防団	団長	内山 博	豊田市消防団	団員	手嶋 孝司	
	名古屋市則武消防団	団長	加藤 幸雄	扶桑町消防団	団員	長谷川 勝英	
	岡崎市広幡消防団	団長	小高 久次	豊田市消防団	団員	林 龍義	
	名古屋市愛知消防団	団長	流谷 清次	江南市消防団	団員	船橋 仁一	
	岡崎市河合消防団	団長	鈴木 栄	大治町消防団	団員	三輪 真嗣	
	名古屋市堀田消防団	団長	野井 昇市	三重県	津市消防団	副団長	井井 信義
	名古屋市旗屋消防団	団長	深井 光司	松阪市消防団	副団長	油谷 和実	

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名	
三重県	紀北町消防団	副団長	大西 亮	滋賀県	大津市消防団	副団長	田中 利明	
	志摩市消防団	副団長	岡野 保		長浜市消防団	副団長	平岡 勇	
	伊勢市消防団	副団長	金森 幸一		栗東市消防団	副団長	宮城 源	
	紀北町消防団	副団長	森田 剛志		大津市消防団	副団長	山本 清	
	伊賀市消防団	副団長	樽井 志繁		京都府	舞鶴市中筋消防団	団長	嶋根 樹
	いなべ市消防団	副団長	寺輪 博樹		井手町消防団	団長	藤野 英訓	
	松阪市消防団	副団長	中尾 大克		京丹後市消防団	副団長	桶本 博行	
	松阪市消防団	副団長	馬場 謙二		京丹波町消防団	副団長	田中 康之	
	津市消防団	副団長	高川 文男		京都市北消防団	副団長	小智 彦彦	
	鳥羽市消防団	副団長	宮本 成章		京都市山科消防団	副団長	小角 春夫	
	四日市市消防団	分団長	伊藤 隆		南丹市消防団	副団長	坂本 八人	
	鈴鹿市消防団	分団長	佐野 治		京都市中京消防団	副団長	杉下 清教	
	尾鷲市消防団	分団長	田崎 之誠		綾部市消防団	副団長	高橋 剛一	
	四日市市消防団	分団長	田中 誠		京丹後市消防団	副団長	田村 清功	
	四日市市消防団	分団長	筒井 氏		長岡京市消防団	副団長	山本 拓也	
	鈴鹿市消防団	分団長	西村 行		綾部市消防団	副団長	野井 樹	
	熊野市消防団	分団長	前川 幸也		南山城村消防団	副団長	鮎川 尚	
	伊勢市消防団	副分団長	奥野 修司		京丹波町消防団	副団長	宮岡 幸憲	
	志摩市消防団	副分団長	堀木 淳		京都市南消防団	副団長	森田 実	
	紀北町消防団	班長	林 安志		京都市西京消防団	副団長	野洲 子	
志摩市消防団	団員	浦口 次	京丹波町消防団	分団長	出田 隆彦			
滋賀県	高島市消防団	団員	荒保 秀	京都市左京消防団	分団長	織田 充裕		
	高島市消防団	副団長	青野 正章	福知山市消防団	分団長	川根 明之		
	彦根市消防団	副団長	谷川 幸夫	福知山市消防団	分団長	曾根 英正		
	彦根市消防団	副団長	北村 正己	福知山市消防団	分団長	高岡 秀		
	野洲市消防団	副団長	澤村 紀夫	和束町消防団	分団長	正田 典		

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
京都府	京都市上京消防団	分団長	中島 康雄	大阪府	枚方市消防団	副団長	吉永 高之
	宮津市消防団	分団長	長谷川 裕之		泉南市消防団	分団長	上野 昭範
	宮津市消防団	分団長	諸請 薫		高槻市消防団	分団長	中野 雄
	木津川市消防団	分団長	岡本 秀美		河内長野市消防団	分団長	泰道 美
	京丹波町消防団	副分団長	津田 勝二		東大阪市消防団	分団長	武田 明
	宇治市消防団	副分団長	谷本 勝一		阪南市消防団	分団長	由良 司
	宇治市消防団	副分団長	水谷 俊樹		吹田市消防団	分団長	橋本 章一
	宇治市消防団	副分団長	森崎 勇史		富田林市消防団	分団長	山本 孝信
	京丹波町消防団	副分団長	内山 善富		岬町消防団	分団長	高宮 治
	京田辺市消防団	部長	市村 友一		豊中市消防団	部長	高宮 治
	和東町消防団	部長	吉田 雄一		門真市消防団	部長	西村 登
	精華町消防団	班長	石井 正照		摂津市消防団	団員	石橋 明彦
	南丹市消防団	班長	久野 秀		寝屋川市消防団	団員	野田 和彦
	福知山市消防団	団員	衣川 巧昭		豊中市消防団	団員	大畑 忠昭
	南丹市消防団	団員	須知 猛昭		豊能町消防団	団員	河崎 昭
	精華町消防団	団員	中川 巳		寝屋川市消防団	団員	北村 行
	大阪府	交野市消防団	団長		鈴木 基也	高木町消防団	団員
熊取町消防団		団長	相輪 浩男	箕面市消防団	団員	東路 啓次	
茨木市消防団		団長	相西 幸一	箕面市消防団	団員	藤田 由紀夫	
枚方市消防団		副団長	井上 誠二	摂津市消防団	団員	森田 美	
柏原市消防団		副団長	大橋 義則	豊中市消防団	団員	山田 正幸	
池田市消防団		副団長	北浦 久司	加東市消防団	団員	井上 義一	
泉佐野市消防団		副団長	榎部 博	姫路市家島町消防団	団員	小吉 裕一	
大阪狭山市消防団		副団長	林 均夫	姫路市姫路西消防団	団員	吉橋 建夫	
藤井寺市消防団		副団長	藤原 啓	姫路市安富町消防団	団員	本長 直樹	
羽曳野市消防団		副団長	松山 啓三	多可町消防団	団員	山本 和樹	

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
兵庫県	宍粟市消防団	副団長	飯田 浩二	兵庫県	淡路市消防団	分団長	大枝 正
	たつの市消防団	副団長	井原 守道		豊岡市豊岡消防団	分団長	大園 正人
	佐用町消防団	副団長	石井 任由		加東市消防団	分団長	梶原 晃
	神戸市西消防団	副団長	伊原 和		養父市消防団	分団長	梶谷 之
	朝来市消防団	副団長	伊原 和		赤穂市消防団	分団長	川崎 修一
	西宮市消防団	副団長	喜高 仁生		西宮市消防団	分団長	木澤 央
	姫路市飾磨消防団	副団長	北村 弘		神戸市垂水消防団	分団長	北野 安伸
	猪名川町消防団	副団長	車 宏		加古川市消防団	分団長	林 恒夫
	淡路市消防団	副団長	小山 登		加古川市消防団	分団長	坂田 桂助
	丹波市消防団	副団長	酒井 誠夫		芦屋市消防団	分団長	高橋 桂夫
	神戸市北消防団	副団長	田中 敏彦		香美町消防団	分団長	田村 正倫
	三木市消防団	副団長	常深 裕史		上郡町消防団	分団長	塚本 元徳
	神戸市西消防団	副団長	中田 秀暢		西脇市消防団	分団長	戸田 好直
	香美町消防団	副団長	中村 根彦		香美町消防団	分団長	中野 雅彦
	神戸市北消防団	副団長	西浦 康夫		養父市消防団	分団長	中野 雅彦
	豊岡市日高消防団	副団長	藤原 正利		淡路市消防団	分団長	新井 昌典
	桶美町消防団	副団長	古谷 信		相生市消防団	分団長	西田 敏広
	宍粟市消防団	副団長	三秀 章		神戸市中央消防団	分団長	橋本 弘和
	神戸市須磨消防団	副団長	元部 雅由		三田市消防団	分団長	橋本 吉一
	朝来市消防団	副団長	山根 勇		尼崎市消防団	分団長	長谷川 夫
神戸市西消防団	副団長	山本 之	尼崎市消防団	分団長	百田 入子		
洲本市消防団	分団長	秋清 重	三田市消防団	分団長	樽田 幸吉		
養父市消防団	分団長	石浜 一朗	尼崎市消防団	分団長	川崎 清彦		
洲本市消防団	分団長	魚里 和彦	西宮市消防団	分団長	松山 幸雄		
豊岡市竹野消防団	分団長	大井 光	加古川市消防団	分団長	萬原 信一		
尼崎市消防団	分団長	太田 延康	伊丹市消防団	分団長	野原 和		

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名	
兵庫県	神戸市兵庫消防団	分団長	道林 幸次	奈良県	吉野町消防団	副団長	上西 弘祐	
	〃 養父市消防団	分団長	南 下 良志		〃 宇陀市消防団	副団長	葛城 康夫	
	〃 神戸市灘消防団	分団長	森 藤 良泰		〃 王寺町消防団	副団長	込 達 照一	
	〃 豊岡市但東消防団	分団長	山 本 隆元		〃 大和郡山形市消防団	副団長	中 中 茶尾 元司	
	〃 加東市消防団	分団長	依 兼 逸人		〃 曾根村消防団	副団長	中 川 洋一	
	〃 新温泉町消防団	副分団長	伊 賀 郁夫		〃 川西町消防団	副団長	福 保 夫	
	〃 新温泉町消防団	副分団長	石 原 治之		〃 生駒市消防団	副団長	福 本 定一	
	〃 明石市消防団	副分団長	石 森 雅之		〃 広陵町消防団	副団長	布 茂 樹	
	〃 赤穂市消防団	副分団長	石 森 雅人		〃 御所市消防団	副団長	細 川 勝則	
	〃 高砂市消防団	副分団長	鎌 松 晃一		〃 葛城市消防団	副団長	山 田 裕清	
	〃 新温泉町消防団	副分団長	河 越 大作		〃 五條市消防団	分団長	新 井 誠一	
	〃 猪名川町消防団	副分団長	福 中 祥章		〃 御所市消防団	分団長	石 川 吉風	
	〃 明石市消防団	副分団長	松 原 洋一		〃 下北山村消防団	分団長	小 崎 剛二	
	〃 高砂市消防団	副分団長	村 井 孝治		〃 野迫川村消防団	分団長	小 崎 金治	
	〃 赤穂市消防団	副分団長	山 本 博義		〃 上北山村消防団	分団長	北 岡 知之	
	〃 川西市消防団	班 長	天 西 史行		〃 天川村消防団	分団長	澤 村 貞一	
	〃 福崎町消防団	団 員	木 西 貴道		〃 天川村消防団	分団長	西 東 剛道	
	〃 太子町消防団	団 員	小 寺 文雄		〃 桜井市消防団	分団長	東 俊 寛	
	〃 猪名川町消防団	団 員	白 露 一		〃 野迫川村消防団	分団長	増 谷 良栄	
	〃 小野市消防団	団 員	広 瀬 秀一		〃 上北山村消防団	班 長	福 嶋 徹也	
〃 宝塚市消防団	団 員	福 完 宏一	〃 十津川村消防団	団 員	中 島 信一郎			
〃 川西市消防団	団 員	瀧 下 光次	和歌山県	高野町消防団	団 長	前 和 好		
〃 小野市消防団	団 員	吉 田 謙一	〃 古座川町消防団	団 長	大 熊 也			
奈良県	河合町消防団	団 長	仲 井 克明	〃 日高川町消防団	団 長	吉 田 覚		
〃 三郷町消防団	団 長	松 浦 勉	〃 和歌山市消防団	副団長	木 秀行			
〃 大和高田市消防団	副団長	飯 須 久	〃 みなべ町消防団	副団長	井 口 廣文			
和歌山県	有田川町消防団	副団長	大 浦 伸吉	鳥取県	岩美町消防団	副団長	吉 田 聡	
	〃 田辺市消防団	副団長	岡 本 勝一		〃 三朝町消防団	副団長	吉 田 宗成	
	〃 日高川町消防団	副団長	合 谷 富加士		〃 鳥取市消防団	分団長	安 達 富由樹	
	〃 新宮市消防団	副団長	野 越 健一		〃 三朝町消防団	分団長	入 江 庄司	
	〃 田辺市消防団	副団長	桑 川 次郎		〃 米子市消防団	分団長	上 杉 次郎	
	〃 太地町消防団	副団長	平 石 久一		〃 倉吉市消防団	分団長	尾 上 清公	
	〃 九度山町消防団	副団長	福 岡 忠司		〃 米子市消防団	分団長	北 園 壽太郎	
	〃 高野町消防団	副団長	吉 清 春一		〃 八頭町消防団	分団長	山 原 耕一	
	〃 有田川町消防団	副団長	松 井 夫美		〃 伯耆町消防団	分団長	木 内 克幸	
	〃 田辺市消防団	副団長	松 本 平彰		〃 鳥取市消防団	分団長	竹 内 幸二	
	〃 有田川町消防団	副団長	道 上 順一		〃 鳥取市消防団	分団長	竹 本 清一	
	〃 かつらぎ町消防団	副団長	宮 本 馨夫		〃 鳥取市消防団	分団長	谷 野 聡	
	〃 太地町消防団	副団長	向 井 正宏		〃 伯耆町消防団	分団長	野 口 智弘	
	〃 御坊市消防団	分団長	井 本 淳也		〃 大山町消防団	分団長	榎 井 幸	
	〃 那智勝浦町消防団	分団長	天 場 英正		〃 大山町消防団	分団長	松 本 厚爾	
	〃 新宮市消防団	分団長	岡 崎 武人		〃 湯梨浜町消防団	分団長	山 田 次	
	〃 有田市消防団	分団長	小 池 吉久		鳥根県	江津市消防団	副団長	青 木 敏明
	〃 串本町消防団	分団長	高 尾 拓次		〃 出雲市消防団	副団長	井 上 純人	
	〃 田辺市消防団	分団長	中 家 隆幸		〃 松江市消防団	副団長	井 上 勇夫	
	〃 田辺市消防団	分団長	森 隆 勇		〃 奥出雲町消防団	副団長	内 田 康也	
〃 太地町消防団	副分団長	海 野 平洋	〃 邑南町消防団	副団長	古 田 五郎			
〃 御坊市消防団	副分団長	津 智 洋	〃 浜田市消防団	副団長	丸 山 義尚			
〃 橋本市消防団	副分団長	森 祐 治	〃 浜田市消防団	副団長	三 宅 龍一			
鳥取県	湯梨浜町消防団	副団長	荒 井 寿之	〃 邑南町消防団	副団長	三 宅 宏昭		
〃 三朝町消防団	副団長	岩 佐 幸三	〃 松江市消防団	副団長	渡 邊 治			
〃 湯梨浜町消防団	副団長	藏 尾 雄治	〃 美郷町消防団	分団長	鎌 尾 雄			

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名	
鳥根県	雲南市消防団	分団長	内田 薫	岡山県	倉敷市消防団	分団長	大西 一夫	
	〃 浜田市消防団	分団長	梅津 里美		〃 岡山市消防団	分団長	岡崎 聡和	
	〃 松江市消防団	分団長	神庭 穂		〃 〃 消防団	分団長	神直 直己	
	〃 浜田市消防団	分団長	小池 順治		〃 鏡野町消防団	分団長	小尾 崎勝	
	〃 浜田市消防団	分団長	小河 昭		〃 玉野市消防団	分団長	小尾 崎勝	
	〃 江津市消防団	分団長	佐永 功敏		〃 総社市消防団	分団長	貝岸 肇文	
	〃 浜田市消防団	分団長	佐木 清繁		〃 笠岡市消防団	分団長	金政 健一	
	〃 江津市消防団	分団長	田中 晃晃		〃 真庭市消防団	分団長	川本 大造	
	〃 津和野町消防団	分団長	徳新 好正		〃 美咲町消防団	分団長	川岸 敬太	
	〃 大田市消防団	分団長	長谷 和孝		〃 玉野市消防団	分団長	香本 嘉彦	
	〃 美郷町消防団	分団長	果瀬 光二		〃 岡山市消防団	分団長	後神 勝	
	〃 益田市消防団	分団長	福原 信二		〃 鏡野町消防団	分団長	坂坂 修作	
	〃 益田市消防団	分団長	藤井 孝三		〃 美作市消防団	分団長	坂元 誠	
	〃 松江市消防団	分団長	松浦 春美		〃 岡山市消防団	分団長	佐藤 章二	
	〃 松江市消防団	分団長	松本 滝夫		〃 玉野市消防団	分団長	三浦 重夫	
	〃 益田市消防団	分団長	菅崎 正司		〃 赤磐市消防団	分団長	重瀬 國方	
	〃 安来市消防団	分団長	山本 弘		〃 備前市消防団	分団長	瀬谷 正人	
	〃 大田市消防団	分団長	山本 清邦		〃 岡山市消防団	分団長	瀬谷 幸男	
	岡山県	真庭市消防団	副団長		山池 邦夫	〃 真庭市消防団	分団長	瀬竹 田規
	〃 美作市消防団	分団長	赤松 正樹		〃 備前市消防団	分団長	玉垣 規	
〃 久米南町消防団	分団長	井口 勉	〃 岡山市消防団	分団長	玉垣 辰治			
〃 鏡野町消防団	分団長	池田 昌治	〃 岡山市消防団	分団長	坪田 一尚			
〃 真庭市消防団	分団長	上尾 光隆	〃 勝央町消防団	分団長	土肥 孝一			
〃 備前市消防団	分団長	上山 克正	〃 真庭市消防団	分団長	土肥 史			
〃 岡山市消防団	分団長	大天 光弘	〃 総社市消防団	分団長	中山 輝			
〃 真庭市消防団	分団長	大塚 賢吾	〃 鏡野町消防団	分団長	西中 治道			
都道府県名	所属	階級	氏名	岡山県	総社市消防団	副分団長	小野 聖	
	〃 岡山市消防団	分団長	林義憲		〃 備前市消防団	副分団長	片山 之	
	〃 真庭市消防団	分団長	平延 秀		〃 和気町消防団	副分団長	川内 誠	
	〃 備前市消防団	分団長	田裕 則		〃 新見市消防団	副分団長	栗野 広	
	〃 津山市消防団	分団長	福岡 勝司		〃 津山市消防団	副分団長	甲本 誠道	
	〃 真庭市消防団	分団長	福島 佳晴		〃 津山市消防団	副分団長	小基 義	
	〃 真庭市消防団	分団長	福本 修司		〃 美作市消防団	副分団長	小林 伸治	
	〃 備前市消防団	分団長	万波 照幸		〃 新見市消防団	副分団長	佐藤 隆美	
	〃 新見市消防団	分団長	菅地 勇		〃 津山市消防団	副分団長	清水 昌	
	〃 総社市消防団	分団長	安井 健		〃 新見市消防団	副分団長	竹下 美	
	〃 岡山市消防団	分団長	矢延 海		〃 倉敷市消防団	副分団長	武田 津	
	〃 鏡野町消防団	分団長	山口 勝		〃 倉敷市消防団	副分団長	田中 義信	
	〃 真庭市消防団	分団長	山本 彦		〃 津山市消防団	副分団長	寺岡 誠二	
	〃 倉敷市消防団	分団長	若狭 弘英		〃 和気町消防団	副分団長	徳島 道	
	〃 津山市消防団	副分団長	赤野 誠正		〃 倉敷市消防団	副分団長	土畑 正	
	〃 新見市消防団	副分団長	安立 伸志		〃 真庭市消防団	副分団長	長尾 宏	
	〃 新見市消防団	副分団長	安達 秀雄		〃 笠岡市消防団	副分団長	中塚 浩二	
	〃 津山市消防団	副分団長	安藤 照三		〃 倉敷市消防団	副分団長	中塚 一	
	〃 新見市消防団	副分団長	池田 西		〃 美作市消防団	副分団長	中野 太	
	〃 真庭市消防団	副分団長	池田 昌嗣		〃 備前市消防団	副分団長	中西 明	
〃 笠岡市消防団	副分団長	今城 康彦	〃 備前市消防団	副分団長	西岡 秀典			
〃 新見市消防団	副分団長	大杉 真彦	〃 備前市消防団	副分団長	西岡 正			
〃 真庭市消防団	副分団長	大橋 勝彦	〃 倉敷市消防団	副分団長	藤原 慎一			
〃 美作市消防団	副分団長	大塚 雄一	〃 新見市消防団	副分団長	藤原 和義			
〃 真庭市消防団	副分団長	岡本 利	〃 津山市消防団	副分団長	山本 志			
〃 赤磐市消防団	副分団長	小野 朗	〃 新見市消防団	副分団長	山澤 武			

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
広島県	広島市安佐北消防団	団長	大田 晋文	広島県	広島市安佐北消防団	分団長	菅谷 正樹
〃	三原市消防団	団長	岡本 茂	〃	三次市消防団	分団長	土井 達夫
〃	福山市消防団	副団長	野上 公士郎	〃	広島市安佐北消防団	分団長	山村 孝樹
〃	尾道市消防団	副団長	倉上 忠	〃	呉市消防団	分団長	中西 秀一
〃	庄原市消防団	副団長	洪川 誠	〃	福山市消防団	分団長	藤井 肇
〃	東広島市消防団	副団長	由弘 前治	〃	三原市消防団	分団長	藤井 肇
〃	江田島市消防団	副団長	出張 秀治	〃	広島市西消防団	分団長	前田 博文
〃	庄原市消防団	副団長	森川 清二	〃	尾道市消防団	分団長	前田 博文
〃	安芸高田市消防団	副団長	森原 高広	〃	東広島市消防団	分団長	松浦 幸昭
〃	広島市南消防団	分団長	石井 敏弘	〃	福山市消防団	分団長	松浦 幸昭
〃	呉市消防団	分団長	岩本 靖啓	〃	東広島市消防団	分団長	松浦 幸昭
〃	三次市消防団	分団長	上落 敏教	〃	呉市消防団	分団長	松浦 幸昭
〃	福山市消防団	分団長	内山 浩志	〃	三原市消防団	分団長	丸橋 三治
〃	広島市佐伯消防団	分団長	大谷 恒尚	〃	坂町消防団	分団長	丸橋 三治
〃	廿日市市消防団	分団長	香川 幸司	〃	三次市消防団	分団長	森中 三善
〃	三原市消防団	分団長	川村 一文	〃	東広島市消防団	分団長	森山 利晴
〃	福山市消防団	分団長	川元 信之	〃	安芸高田市消防団	分団長	吉井 清樹
〃	広島市佐伯消防団	分団長	神田 隆	〃	安芸高田市消防団	副分団長	石川 和男
〃	三原市消防団	分団長	吉舎 卓蔵	〃	尾道市消防団	副分団長	岡田 一成
〃	大竹市消防団	分団長	見玉 朋也	〃	広島市安佐北消防団	副分団長	金本 宏文
〃	廿日市市消防団	分団長	五反田 秀司	〃	尾道市消防団	副分団長	金本 宏文
〃	東広島市消防団	分団長	佐伯 光昭	〃	呉市消防団	副分団長	久保 正勝
〃	東広島市消防団	分団長	重森 武白	〃	竹原市消防団	副分団長	中平 正紀
〃	尾道市消防団	分団長	正武 雅史	〃	呉市消防団	副分団長	中平 正紀
〃	三次市消防団	分団長	白附 直樹	〃	広島市安佐北消防団	副分団長	中水 理史
〃	福山市消防団	分団長	高橋 美長	〃	呉市消防団	副分団長	中水 理史

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
広島県	呉市消防団	副分団長	宮尾 宏	山口県	阿武町消防団	副団長	常水 康富
〃	三原市消防団	副分団長	宮下 敏治	〃	山口市消防団	副団長	中村 守
〃	呉市消防団	部長	柴林 徹	〃	萩市消防団	副団長	野村 謙司
〃	呉市消防団	部長	新谷 秀隆	〃	周防大島町消防団	副団長	野村 謙司
〃	広島市安佐北消防団	部長	竹本 幸則	〃	周防大島町消防団	副団長	林 茂樹
〃	呉市消防団	部長	西水 良文	〃	山口市消防団	副団長	原田 信之
〃	呉市消防団	部長	橋本 和昭	〃	田布施町消防団	副団長	原田 弘明
〃	呉市消防団	部長	原大 泰治	〃	下松市消防団	副団長	松田 良二
〃	広島市中消防団	班長	大藤 明美	〃	萩市消防団	分団長	伊武 隆隆
〃	北広島町消防団	団員	岡崎 敏美	〃	宇部市消防団	分団長	伊藤 和雄
〃	三次市消防団	団員	落合 好弘	〃	萩市消防団	分団長	榎田 進
〃	安芸太田町消防団	団員	栗原 重幸	〃	美祿市消防団	分団長	枝村 昌昌
〃	三次市消防団	団員	杉野 達也	〃	岩国市消防団	分団長	大内 一夫
〃	安芸太田町消防団	団員	岡田 哲也	〃	山口市消防団	分団長	岡田 剛
〃	府中市消防団	団員	豊田 勝彦	〃	宇部市消防団	分団長	小川 信博
〃	府中市消防団	団員	豊田 雅彦	〃	岩国市消防団	分団長	賀川 尚
〃	北広島町消防団	団員	西岡 博	〃	岩国市消防団	分団長	加川 敏治
〃	安芸太田町消防団	団員	笠原 博	〃	山口市消防団	分団長	加藤 和久
〃	広島市東消防団	団員	平野 静次	〃	萩市消防団	分団長	角 宣男
〃	府中市消防団	団員	藤原 志	〃	山陽小野田市消防団	分団長	佐々木 成一
〃	三次市消防団	団員	法野 智	〃	山陽小野田市消防団	分団長	重藤 剛
〃	府中市消防団	団員	宮本 津奈樹	〃	岩国市消防団	分団長	高原 弘
〃	三次市消防団	団員	明賀 博	〃	平生町消防団	分団長	高田 元魁
〃	大竹市消防団	団員	村田 昭男	〃	萩市消防団	分団長	鳥元 英雄
山口県	和木町消防団	団長	黒下 利夫	〃	周南市消防団	分団長	中村 武史
〃	山口市消防団	副団長	多田 和子	〃	下関市消防団	分団長	田面 富夫

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
山口県	岩国市消防団	分団長	橋本 久幸	徳島県	東みよし町消防団	副団長	高田 之之
	山陽小野田市消防団	分団長	濱本 泰則		徳島市消防団	副団長	徳本 恵市
	岩国市消防団	分団長	山田 健治		三好市西祖谷消防団	副団長	西村 幸徳
	岩国市消防団	分団長	平富 士雄		上板町消防団	副団長	前田 明徳
	萩市消防団	分団長	藤井 幹雄		鳴門市消防団	副団長	松本 陽一
	光市消防団	分団長	吉野 穂之		牟岐町消防団	副団長	冨田 志志
	防府市消防団	分団長	政崎 茂弘		板野東部消防組合消防団	副団長	山本 恭裕
	柳井市消防団	分団長	三島 健一		三好市井川町消防団	分団長	荒川 智智
	長門市消防団	分団長	宮崎 武行		三好市山城町消防団	分団長	石野 昭一
	長門市消防団	分団長	村井 貢一		海陽町消防団	分団長	岩佐 智智
	宇部市消防団	分団長	村上 健文		阿南市消防団	分団長	岩田 浩文
	岩国市消防団	分団長	村中 克則		三好市井川町消防団	分団長	内田 年昭
	山口市消防団	分団長	矢野 青雄		阿南市消防団	分団長	角田 昭一
	下関市消防団	分団長	矢野 連太郎		三好市井川町消防団	分団長	大西 愛一
	宇部市消防団	分団長	山田 健兒		美馬市消防団	分団長	尾方 誠一
	下関市消防団	分団長	山田 公司		美馬西部消防組合消防団	分団長	岡本 利一
	山口市消防団	分団長	吉松 俊康		神山町消防団	分団長	西尾 弘史
	防府市消防団	分団長	吉村 孝人		三好市山城町消防団	分団長	高尾 重武
	周南市消防団	分団長	吉安 徹朗		海陽町消防団	分団長	高尾 知徳
	周防大島町消防団	副分団長	岡本 正行		三好市井川町消防団	分団長	近藤 嘉勇
下関市消防団	副分団長	矢野 要入	三好市井川町消防団	分団長	近藤 義人		
上関町消防団	班長	略早 夫	阿南市消防団	分団長	近藤 貴彦		
徳島県	三好市池田町消防団	副団長	向佐 尚和	徳島市消防団	分団長	田原 史史	
	阿波市消防団	副団長	笠原 正武	板野町消防団	分団長	谷川 司	
	板野東部消防組合消防団	副団長	櫻井 正治	海陽町消防団	分団長	谷山 雄史	
	吉野川市消防団	副団長	瀬川 勝之	徳島市消防団	分団長	内藤 敦史	

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
徳島県	美馬西部消防組合消防団	分団長	中川 郁都	香川県	善通寺市消防団	副分団長	三原 明彦
	美馬市消防団	班長	黒岩 誠治		坂出市消防団	副分団長	山本 真司
香川県	美馬市消防団	団員	中山 定明	まんのう町消防団	団員	高尾 勉	
	さぬき市消防団	副団長	中野 照雄	丸亀市消防団	団員	高尾 利夫	
	三木町消防団	副団長	近藤 守隆	松山市消防団	副団長	青池 眞安	
	高松市消防団	副団長	松本 英教	四国中央市消防団	副団長	桶村 隆隆	
	まんのう町消防団	副団長	宮川 昭史	伊方町消防団	副団長	笹本 有吾	
	丸亀市消防団	副団長	吉本 博之	今治市消防団	副団長	高野 健太郎	
	三豊市消防団	分団長	吉山 哲一	宇和島市消防団	副団長	高野 誠一	
	三豊市消防団	分団長	安藤 真弥	大洲市消防団	副団長	松本 志志	
	宇多津町消防団	分団長	今津 賢士	愛南町消防団	副団長	吉田 雄一	
	坂出市消防団	分団長	川井 敏弘	松山市消防団	副団長	脇長 靖政	
	東かがわ市消防団	分団長	木村 忠彰	今治市消防団	副団長	渡部 也也	
	東かがわ市消防団	分団長	藤上 彰伸	大洲市消防団	副団長	野仲 智二	
	さぬき市消防団	分団長	佐々木 清二	今治市消防団	分団長	越智 研一	
	さぬき市消防団	分団長	佐々木 英尚	内子町消防団	分団長	久保 茂茂	
	三豊市消防団	分団長	岡上 浩造	今治市消防団	分団長	小松 孝之	
	高松市消防団	分団長	砂川 義明	宇和島市消防団	分団長	小辻 秀徳	
	多度津町消防団	分団長	田村 清健	久万高原町消防団	分団長	左野 雄一	
	小豆島町消防団	分団長	西岡 佳則	東温市消防団	分団長	徳野 守守	
	丸亀市消防団	分団長	西川 洋一	内子町消防団	分団長	西野 志志	
	高松市消防団	分団長	濱崎 克彦	内子町消防団	分団長	西野 清彦	
三豊市消防団	分団長	藤原 裕憲	松山市消防団	分団長	西野 雄一		
高松市消防団	分団長	藤原 道雄	松山市消防団	分団長	西野 雄一		
高松市消防団	分団長	宮武 和弘	西子市消防団	分団長	福井 重雄		
坂出市消防団	分団長	山本 芳孝	鬼北町消防団	分団長	福浦 明		

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名	
愛媛県	松山市消防団	分団長	松厚 司	愛媛県	四国中央市消防団	班長	水田 志雄	
	大洲市消防団	分団長	政所 俊司		砥部町消防団	団員	水田 重	
	大洲市消防団	分団長	水口 春樹		西予市消防団	団員	中野 愛	
	松前町消防団	分団長	水口 哲司		西予市消防団	団員	宇都宮 義憲	
	内子町消防団	分団長	森井 照		西予市消防団	団員	原 正春	
	松山市消防団	分団長	森井 一成		西予市消防団	団員	佐藤 和志	
	内子町消防団	分団長	矢野 良平		今治市消防団	団員	佐藤 誠	
	松山市消防団	分団長	山岡 欣也		今治市消防団	団員	嶋嶋 守彦	
	四国中央市消防団	分団長	横内 眞司		久万高原町消防団	団員	中野 邦彦	
	伊予市消防団	分団長	横山 裕輝		今治市消防団	団員	中野 成則	
	新居浜市消防団	副分団長	加藤 明慶		八幡浜市消防団	団員	西川 正則	
	伊予市消防団	副分団長	河内 文敬		伊予市消防団	団員	福岡 好夫	
	上島町消防団	副分団長	佐々木 誠		西予市消防団	団員	保坂 永太郎	
	新居浜市消防団	副分団長	佐藤 雅一		西予市消防団	団員	水口 義彦	
	松山市消防団	副分団長	玉井 参良		砥部町消防団	団員	森岡 美彦	
	新居浜市消防団	副分団長	横木 正		今治市消防団	団員	矢野 明彦	
	内子町消防団	副分団長	長瀬 孝仁		西予市消防団	団員	山本 雅人	
	今治市消防団	副分団長	水正 正人		久万高原町消防団	団員	山下 元司	
	四国中央市消防団	副分団長	村上 勉		今治市消防団	団員	渡部 康博	
	新居浜市消防団	副分団長	安藤 雄彦		高知県	土佐町消防団	団長	井川 信行
松山市消防団	副分団長	柳原 克彦	中芸広域連合奈半利町消防団	団長	土居 佳佳			
四国中央市消防団	副分団長	柳原 修治	佐川町消防団	団長	藤本 生			
四国中央市消防団	部長	石川 正	中芸広域連合馬路村消防団	副団長	藤本 幸平			
四国中央市消防団	部長	鈴本 秀昭	高幡消防組合四万十消防団	副団長	武内 孝徳			
西予市消防団	部長	西田 英一	大豊町消防団	副団長	豊水 清一			
八幡浜市消防団	班長	上田 豊	高幡消防組合中土佐消防団	分団長	池田 秀寿			
高知県	香美市消防団	分団長	小松 健二	福岡県	久留米市消防団	副団長	八尋 文	
	宿毛市消防団	分団長	小山 功		筑紫野市消防団	副団長	劉 康夫	
	東洋町消防団	分団長	近藤 洋典		柳川市消防団	分団長	荒巻 孝治	
	室戸市消防団	分団長	藤原 起		岡垣町消防団	分団長	安藤 克治	
	越知町消防団	分団長	高橋 太郎		飯塚市消防団	分団長	白石 嘉広	
	四万十市消防団	分団長	土居 愛明		福岡市水上消防団	分団長	今林 広幸	
	高知市消防団	分団長	野村 清文		北九州市小倉北消防団	分団長	入門 巧	
	香南市消防団	分団長	眞島 洋一		大任町消防団	分団長	岩本 修	
	高幡消防組合須崎消防団	分団長	松浦 亮彦		福智町消防団	分団長	高橋 始治	
	本山町消防団	分団長	本山 眞等		福智町消防団	分団長	宇野 等	
	南国市消防団	分団長	森岡 広彦		直方市消防団	分団長	大田 勝彦	
	土佐市消防団	分団長	山崎 克彦		飯塚市消防団	分団長	太田 博樹	
	いの町消防団	分団長	和田 守敏		久留米市消防団	分団長	小野 平司	
	土佐清水市消防団	部長	長島 洋		飯塚市消防団	分団長	小野山 平	
	日高村消防団	団員	天川 啓司		赤村消防団	分団長	加藤 未樹	
	仁淀川町消防団	団員	高岩 勇		宮若市消防団	分団長	梶原 之	
	高幡消防組合津野消防団	団員	高岩 太宏		福岡市東消防団	分団長	藤浦 孝則	
	高幡消防組合梅原消防団	団員	西村 清吉		福岡市早良消防団	分団長	城戸 大樹	
	福岡県	北九州市小倉南消防団	団長		吉野 清一	小竹町消防団	分団長	木本 重樹
		北九州市洞海湾消防団	副団長		石橋 一徳	みやこ町消防団	分団長	熊谷 美
北九州市戸畑消防団		副団長	伊藤 洋一	川崎町消防団	分団長	近藤 徳		
八女市消防団		副団長	栗原 義和	大牟田市消防団	分団長	猿渡 幸洋		
久留米市消防団		副団長	酒見 隆生	豊前市消防団	分団長	品石 孝司		
八女市消防団		副団長	椿原 白	北九州市門司消防団	分団長	白石 孝		
水巻町消防団		副団長	坪井 彦彦	みやこ町消防団	分団長	進友 雄		
福智町消防団		副団長	藤原 昌信	久留米市消防団	分団長	高木 治		

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名	
福岡県	田川市消防団	分団長	竹内博	福岡県	みやこ町消防団	副分団長	中利行	
	柳川市消防団	分団長	田中秀幸		嘉麻市消防団	副分団長	平嶋浩史	
	福岡市博多消防団	分団長	長瀬雅之		宮若市消防団	副分団長	吉野弘	
	福岡市博多消防団	分団長	東野三浦		北九州市若松消防団	副分団長	古正好	
	飯塚市消防団	分団長	中丸芳彦		北九州市小倉北消防団	副分団長	宮崎博	
	久留米市消防団	分団長	原川口俊美		行橋市消防団	副分団長	高野淳	
	みやこ町消防団	分団長	原田田久		佐賀県	鹿島市消防団	副団長	松本博
	北九州市戸畑消防団	分団長	原田豊		伊万里市消防団	分団長	手利紀	
	宮若市消防団	分団長	春田洋一		唐津市消防団	分団長	井井和	
	福岡市西消防団	分団長	前田正		佐賀市消防団	分団長	江越清司	
	大牟田市消防団	分団長	増永喜秀	佐賀市消防団	分団長	江下安介		
	田川市消防団	分団長	菅川幸幸	伊万里市消防団	分団長	大崎新二郎		
	北九州市小倉南消防団	分団長	三村調章	佐賀市消防団	分団長	川原昭		
	行橋市消防団	分団長	宮下浩一	白石町消防団	分団長	久津洋一		
	築上町消防団	分団長	森口明彦	神埼市消防団	分団長	幸博		
	添田町消防団	分団長	八幡信弘	唐津市消防団	分団長	坂本智彦		
	北九州市洞海湾消防団	分団長	矢野泰照	伊万里市消防団	分団長	山下平		
	北九州市若松消防団	分団長	和田健由	玄海町消防団	分団長	杉幸則		
	田川市消防団	分団長	和田孝義	佐賀市消防団	分団長	芹和貴		
	福岡市水上消防団	副分団長	今林昭昭	佐賀市消防団	分団長	園喜喜		
	宮若市消防団	副分団長	入江隆一	唐津市消防団	分団長	田口良幸		
	桂川町消防団	副分団長	西郷豊	小城市消防団	分団長	辻隆文		
	福岡市中央消防団	副分団長	山田保徳	唐津市消防団	分団長	浪田弘成		
	福岡市南消防団	副分団長	谷辰朗	唐津市消防団	分団長	林直樹		
	川崎町消防団	副分団長	寺裕隆	唐津市消防団	分団長	百直樹		
嘉麻市消防団	副分団長	島伸行	江北町消防団	分団長	百英樹			

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名	
佐賀県	唐津市消防団	分団長	古館正一	長崎県	対馬市消防団	副団長	水留敏	
	佐賀市消防団	分団長	眞崎達		西海市消防団	副団長	中村繁	
	武雄市消防団	分団長	松尾成		長与町消防団	副団長	中山哲也	
	嬉野市消防団	分団長	宮崎慎吾		長崎市消防団	副団長	中山文雄	
	唐津市消防団	分団長	森田勇仁		対馬市消防団	副団長	西山章	
	唐津市消防団	分団長	横山達也		対馬市消防団	副団長	原裕一	
	吉野ヶ里町消防団	副分団長	井上重信		平戸市消防団	副団長	牧山茂人	
	鳥栖市消防団	副分団長	緒方嘉信		長崎市消防団	副団長	本谷昌晴	
	神埼市消防団	副分団長	谷田敏晃		五島市消防団	副団長	西国昌文	
	佐賀市消防団	副分団長	森田幸一		新上五島町消防団	分団長	朝野伸一	
	武雄市消防団	副分団長	陣内繁樹		佐々町消防団	分団長	上原宏一	
	白石町消防団	副分団長	田島浩		対馬市消防団	分団長	藤上泰広	
	武雄市消防団	副分団長	友秀美		川棚町消防団	分団長	楠本淳也	
	武雄市消防団	副分団長	水尾宗司		佐世保市消防団	分団長	笹野達郎	
	有田町消防団	副分団長	中島一男		大村市消防団	分団長	島田克彦	
	神埼市消防団	副分団長	廣藤泰広		長崎市消防団	分団長	山下誠彦	
	鳥栖市消防団	副分団長	村山実		対馬市消防団	分団長	庄司伸吾	
	太良町消防団	副分団長	山口朋毅		東彼杵町消防団	分団長	安田勝	
	有田町消防団	副分団長	栗田忠彦		諫早市消防団	分団長	田中正寛	
	多久市消防団	団員	小柳勝徳		長崎市消防団	分団長	田村里志	
	長崎県	対馬市消防団	副団長		大坪祥久	時津町消防団	分団長	中尾彦彦
		佐世保市消防団	副団長		大野浩浩	雲仙市消防団	分団長	中村結宗
		長崎市消防団	副団長		釜健治	西海市消防団	分団長	濱田佳正
		志岐市消防団	副団長		川添研一	雲仙市消防団	分団長	藤正臣
		南島原市消防団	副団長		北田幸一	対馬市消防団	分団長	福島利弥
佐世保市消防団		副団長	豊嶋寿	平戸市消防団	分団長	吉川勝彦		

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名	
長崎県	長崎市消防団	分団長	川光 義勝	熊本県	大津町消防団	副団長	矢野 大介	
	〃	分団長	本川 正勝		〃	苓北町消防団	副団長	山口 泰治
	〃	分団長	本山下 豊満		〃	人吉市消防団	分団長	赤池 浩一
	〃	分団長	山下 繁信		〃	熊本市消防団	分団長	笑見 光弘
	〃	分団長	横道 藤隆		〃	天草市消防団	分団長	野上 修一郎
	〃	分団長	吉野 嘉隆		〃	熊本市消防団	分団長	神田 伸一
	〃	副分団長	宮崎 秀喜		〃	小国町消防団	分団長	川谷 正一
	〃	班長	濱村 初好		〃	津奈木町消防団	分団長	野戸 裕司
	〃	団員	山貴 信		〃	南小国町消防団	分団長	城戸 格一
	〃	団員	高田 安尊		〃	熊本市消防団	分団長	熊谷 昭一
	〃	団員	橋本 博明		〃	山都町消防団	分団長	坂本 酒一
	〃	団員	松村 厳一		〃	天草市消防団	分団長	水尾 裕一
	〃	団員	山正 正人		〃	あさぎり町消防団	分団長	谷崎 誠太郎
	〃	団員	高日 龍治		〃	熊本市消防団	分団長	谷崎 誠也
	熊本県	阿蘇市消防団	団長		高山 和敏	〃	水俣市消防団	分団長
〃		副団長	山原 朋樹	〃	熊本市消防団	分団長	中山 雅博	
〃		副団長	今村 至	〃	湯前町消防団	分団長	那須 貴紀	
〃		副団長	上田 清史	〃	天草市消防団	分団長	丸太 一盛	
〃		副団長	上江 友則	〃	熊本市消防団	分団長	村上 勝盛	
〃		副団長	斉藤 幸人	〃	熊本市消防団	分団長	守本 秀幸	
〃		副団長	田川 陽介	〃	熊本市消防団	分団長	吉川 浩一	
〃		副団長	竹本 亨	〃	芦北町消防団	班長	木村 義弘	
〃		副団長	田上 悟太郎	〃	八代市消防団	班長	田村 浩治	
〃		副団長	樋野 竜一	〃	天草市消防団	団員	若崎 敏彦	
〃		副団長	中野 重将	〃	八代市消防団	団員	若瀬 治一	
〃		副団長	那須 将人	〃	熊本市消防団	団員	清博 幸	

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名	
熊本県	合志市消防団	団員	澤清 矢	大分県	中津市消防団	分団長	小出 博康	
	〃	団員	川下 輝昭		〃	国東市消防団	分団長	郷司 正安
	〃	団員	関川 博文		〃	大分市消防団	分団長	佐藤 次
	〃	団員	竹下 清之		〃	大分市消防団	分団長	佐藤 和
	〃	団員	田中 伸佳		〃	由布市消防団	分団長	佐藤 建
	〃	団員	甲斐 勝彦		〃	臼杵市消防団	分団長	高田 之
	〃	団員	西尾 信一		〃	大分市消防団	分団長	高田 一
	〃	団員	萩尾 信親		〃	中津市消防団	分団長	高田 利
	〃	団員	福岡 博伸		〃	豊後大野市消防団	分団長	中村 浩治
	〃	団員	松尾 憲		〃	日田市消防団	分団長	原田 明司
	〃	団員	松本 宗義		〃	大分市消防団	分団長	原田 秀樹
	〃	団員	宮本 博明		〃	竹田市消防団	分団長	野田 士
	〃	団員	山田 誠		〃	臼杵市消防団	分団長	松本 士
	〃	副団長	岡部 銀宏		〃	中津市消防団	分団長	松本 啓一
	大分県	豊後大野市消防団	副団長		岡部 銀宏	〃	別府市消防団	副分団長
〃		副団長	梶原 龍生	〃	佐伯市消防団	部長	山根 文夫	
〃		副団長	河野 陽正	〃	豊後高田市消防団	部長	宮内 義信	
〃		副団長	佐藤 正行	〃	佐伯市消防団	班長	野河 智	
〃		副団長	谷口 英樹	〃	津久見市消防団	班長	野河 省三	
〃		副団長	堀谷 英好	〃	佐伯市消防団	班長	三浦 秀一	
〃		分団長	山田 彦彦	〃	九重町消防団	班長	湯浅 隆	
〃		分団長	小川 公生	〃	佐伯市消防団	団員	湯野 士朗	
〃		分団長	小野 和隆	〃	中津市消防団	団員	若久 隆	
〃		分団長	小野 和幸	〃	別府市消防団	団員	若久 隆	
〃		分団長	小野 和幸	〃	佐伯市消防団	団員	吉藤 好	
〃		分団長	小片 秋次	〃	竹田市消防団	団員	吉藤 幸	
〃		分団長	上野 亮	〃				
〃		分団長	木村 勇一	〃				

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名	
大分県	中津市消防団	団員	黒野 喜久男	宮崎県	日南市消防団	分団長	弓削 要	
	杵築市消防団	団員	塚本 一通		日南市消防団	副分団長	清家 登	
	杵築市消防団	団員	水野 忠恵		日南市消防団	副分団長	谷口 寿治	
	中津市消防団	団員	中野 隆		西都市消防団	副分団長	横山 弘	
	豊後大野市消防団	団員	羽田野 弘		都城市消防団	部長	藤部 啓一郎	
	日出町消防団	団員	東 龍一		西都市消防団	部長	津濱 砂司	
	日田市消防団	団員	隈 頼久		西都市消防団	部長	津濱 砂信	
	佐伯市消防団	団員	日谷 誠和		都城市消防団	部長	横山 清昭	
	津久見市消防団	団員	石山 和久		都城市消防団	班長	福重 博司	
	宮崎県	高千穂町消防団	副団長		今長 大	木城町消防団	団員	岐和 寿
日向市消防団		副団長	小川 三	高原町消防団	団員	内田 裕治		
美郷町消防団		副団長	小直 樹	宮崎市消防団	団員	河野 功		
小林市消防団		副団長	柳 真砂寛	鹿屋島市消防団	団長	川村 巧		
綾町消防団		副団長	柳 妻 茂	中種子町消防団	団長	中村 真一		
都城市消防団		副団長	長谷場 平	霧島市消防団	副団長	荒瀬 博文		
国富町消防団		副団長	木山 輔	いちき串木野市消防団	副団長	石川 正一		
小林市消防団		副団長	矢野 孝也	日置市消防団	副団長	上園 勝彦		
延岡市消防団		分団長	岩 苗 重	南種子町消防団	副団長	南野 進一郎		
延岡市消防団		分団長	岩 眞 誠	鹿屋島市消防団	副団長	此 都 稔		
五ヶ瀬町消防団		分団長	甲斐 繁久	東串良町消防団	分団長	今村 清春		
延岡市消防団		分団長	川 國 充	錦江町消防団	分団長	岩崎 正		
宮崎市消防団		分団長	貴島 康弘	霧島市消防団	分団長	岩崎 崎		
串間市消防団		分団長	野邊 義彦	霧島市消防団	分団長	海江田 俊		
えびの市消防団		分団長	橋爪 義和	肝付町消防団	分団長	上水吉 幸		
高千穂町消防団		分団長	廣木 哲也	鹿屋市消防団	分団長	川崎 成敏		
宮崎市消防団		分団長	藤山 正弘	鹿屋市消防団	分団長	宮下 清安		
鹿屋島県	鹿屋市消防団	分団長	園田 誠	鹿屋島県	霧島市消防団	団員	徳田 正美	
	枕崎市消防団	分団長	土屋 淳		肝付町消防団	団員	中崎 洋	
	日置市消防団	分団長	中 良 治	沖縄県	うるま市消防団	団長	仲宗根 徹	
	霧島市消防団	分団長	中山 博典					
	鹿屋市消防団	分団長	鶴 正 博					
	錦江町消防団	分団長	福岡 清昭					
	湧水町消防団	分団長	古市 幸二					
	鹿屋市消防団	分団長	三宅 寛					
	薩摩川内市消防団	分団長	森 満 守					
	霧島市消防団	分団長	弓削 藩					
	鹿屋島市消防団	副分団長	内久保 貞巳					
	肝付町消防団	副分団長	谷山 敏 勇					
	日置市消防団	副分団長	能勢 新 市					
	鹿屋島市消防団	副分団長	宮下 治					
	鹿屋島市消防団	部長	磯 口 勉					
	西之表市消防団	部長	岩元 美 一					
	垂水市消防団	部長	大迫 眞 一					
鹿屋島市消防団	部長	比良 高 明						
鹿屋島市消防団	部長	比良田 輝						
鹿屋島市消防団	班長	野元 努						
宇検村消防団	班長	山下 正文						
鹿屋島市消防団	団員	市坪 直己						
薩摩川内市消防団	団員	宇都 明 紀						
霧島市消防団	団員	小野 史 朗						
伊佐市消防団	団員	見島 和 敏						
霧島市消防団	団員	下深道 孝 二						

表彰旗を授与する消防機関（21機関）

都道府県名 機関名

- 北海道
 - 岩内・寿都地方消防組合岩内消防団
 - 岩内・寿都地方消防組合泊消防団
 - 上川北部消防事務組合名寄消防団
 - 上川北部消防事務組合音威子府消防団
 - 士別地方消防事務組合剣淵町消防団
 - 斜里地区消防組合清里消防団
 - 紋別地区消防組合滝上消防団
 - 羊蹄山ろく消防組合留寿都消防団
- 福島県 相馬市消防団
- 埼玉県 比企広城市町村圏組合東松山消防団
- 東京都
 - 式根島消防団
 - 東久留米市消防団
 - 丸の内消防団
- 神奈川県
 - 真鶴町消防団
 - 横浜市栄消防団
- 長野県
 - 売木村消防団
 - 南相木村消防団
- 京都府 舞鶴市神崎消防団
- 兵庫県 神戸市長田消防団
- 鹿児島県 三島村消防団
- 沖縄県 北大東村消防団

竿頭綬を授与する消防機関（37機関）

都道府県名 機関名

- 青森県
 - 五戸町消防団
 - 中泊町消防団
- 山形県 三川町消防団
- 福島県
 - 白河地方広城市町村圏整備組合消防本部・中島村消防団
 - 伊達地方消防組合消防本部・川俣町消防団
- 茨城県 土浦市消防本部・土浦市消防団
- 栃木県 那須町消防団
- 群馬県 富岡甘楽広域消防本部・富岡市消防団
- 埼玉県
 - 羽生市消防団
 - 横瀬町消防団
- 東京都
 - 尾久消防団
 - 金町消防団
 - 小平市消防団
- 神奈川県
 - 綾瀬市消防本部・綾瀬市消防団
 - 秦野市消防本部・秦野市消防団
- 新潟県 上越地域消防局・妙高市消防団
- 長野県
 - 上田地域広域連合消防本部・東御市消防団
 - 木曾広域消防本部・木曾町消防団
- 岐阜県
 - 神戸町消防団
 - 羽島市消防本部・羽島市消防団
- 静岡県
 - 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部・御殿場市消防団
 - 湖西市消防本部・湖西市消防団
- 三重県 鈴鹿市消防本部・鈴鹿市消防団
- 京都府 京都市東山消防団
- 兵庫県
 - 西宮市消防団
 - 福崎町消防団
- 奈良県 斑鳩町消防団
- 岡山県 井原地区消防組合消防本部・井原市消防団
- 徳島県 小松島市消防本部・小松島市消防団
- 香川県 さぬき市消防団
- 長崎県 佐世保市消防局・小値賀町消防団
- 熊本県
 - 宇土市消防団
 - 山都町消防団
- 大分県 玖珠町消防団
- 宮崎県 西諸広域行政事務組合消防本部・えびの市消防団
- 鹿児島県
 - 錦江町消防団
 - 南九州市消防団



表彰式の様子



祝辞 日本消防協会 秋本敏文会長

全国消防団応援の店について

(公財)日本消防協会

地域のために活動されている消防団員の皆様への「ごくろうさん」という気持ちから、全国各地でスタートした「消防団応援の店」が、地元の消防団員だけでなく、全国の消防団員をサービスの対象とするのが「全国消防団応援の店」です。

この取組は平成28年7月にスタートし、全国消防団応援の店の登録数は、皆様の多大なご協力のおかげで順調に増え続け、令和5年2月28日現在で、5,103店舗となりました。

日本消防協会のホームページに「全国消防団応援の店」のリストを公開しておりますので、是非ご覧ください。

また、公益財団法人日本消防協会では「全国消防団応援の店」に関する情報を随時募集しております。お店を利用された方の声、応援の店の声やPR等どんなことでも結構です。皆様からのご寄稿、情報提供をお待ちしております。



多くの消防団員の皆様のご利用をお願いします！

業種	サービス内容
食堂・レストラン	ドリンク1杯サービス、飲食料割引、お子様ドリンクバー無料
ホテル、旅館、民宿	利用料金割引、宿泊者の岩盤浴無料、夕食メニュー1品追加etc.
スナック	カラオケ高得点でビール1杯サービス、飲み放題歌い放題割引 誕生日サービスetc.
居酒屋	生ビール1杯サービス、付だしサービス、飲食料割引etc.
お菓子店	割引、お菓子プレゼントetc.
衣料品・物販	ポイントアップ、割引、スタンプ2倍etc.
理美容業	ヘッドスパサービス、カット料金10% off etc.
自動車整備	オイル交換工賃サービス、エンジンオイル・バッテリー割引etc.
金融機関	ローンの金利引き下げ
美術館・博物館・記念館	入館料・観覧料割引etc.
幼稚園	入園料免除etc.
スポーツ施設	入会料割引、月会費10% off、レッスン料割引etc.
道の駅	アイスクリームサービスetc.
結婚式場	新郎・新婦衣装割引、生花ブーケサービスetc.
旅行	消防団バス旅行の際ビール1ケースプレゼントetc.
引越し業	法人価格の基本料金(人件費・運賃)より20%以上割引(繁忙期を除く)

消防育英会支援自動販売機の 設置状況について

(公助)消防育英会

消防育英会支援自動販売機は平成26年度の事業開始以来、総務省をはじめ、全国の消防本部、消防署、消防団を中心に計503台が設置されています。(令和5年1月末日現在)

1 消防育英会の支援

消防育英会は、国民が消防活動に従事し、又は協力したため災害を受けて死亡し、又は障害を負われた、いわゆる一般協力者及び公務上の災害により死亡し、又は障害を負われた消防団員又は消防職員の子弟に対して、学校生活に必要な奨学金や入学一時金の給付などの支援を行っています。

小学校、中学校、高等学校、大学、高等専門学校などに在学している全国の子弟さんが支援を受けています。

現在、小学校に就学していない子弟さんもいることから、消防育英会の資金を今後も継続的に確保する必要があります。

消防育英会の資金を少しでも確保するための飲料水メーカーとの共同事業で、消太くんのロゴの入った自動販売機を設置して頂くと、その売上げの一部(原則2円)が飲料水メーカーから消防育英会に寄付されるものです。

2 支援自販機事業の仕組み・使用用途

飲料水の販売価格は、設置して頂く消防本部や消防署等との協議により決めて頂き、従来の販売価格を変えずに設置することができます。

ご支援いただいた寄付金は、奨学金の給付及びその他運営に必要な経費として活用させていただきます。

3 飲料水メーカー(順不同)

アサヒ飲料(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、

みちのくコカ・コーラボトリング(株)、北陸コカ・コーラボトリング(株)、沖縄コカ・コーラボトリング(株)、ダイドードリンコ(株)、(株)ダイドードリンコ北陸、サントリービバレッジソリューション(株)、東京キリンビバレッジサービス(株)、ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)、みちのくキャンティーン(株)、ボランティア・ベンダー協会、ナショナル・ベンディング(株)、(株)伊藤園、東京ヤクルト販売(株)、大館ヤクルト販売(株)、古河ヤクルト販売(株)、広島中央ヤクルト販売(株)、FVジャパン(株)、大塚製薬(株)熊本支店、(株)レイカ、(株)ユカ、(株)佐藤総業、沖縄ボトラーズ(株)

4 設置のご相談

取り敢えず話を聞きたい、設置を検討したいという場合ご連絡ください。各メーカーの担当者を説明にお伺いさせていただきます。設置の条件などについて、個別にご相談をさせていただきます。

この売上の一部は
消防育英会を通して
消防殉職者遺児の
支援に
役立てられます



消防殉職者の遺児を
応援しています。

TEL : 03-6263-9748

Mail : ikuei_info@nissho.or.jp

うちの

名物団員



山形県

東根市消防団 副団長

平山 道夫

山形県東根市消防団からは、平山副団長を紹介します。
東根市は、日本一の生産量を誇るさくらんぼをはじめ、ももやラ・フランス、ぶどう、いちごなど四季を通してフルーツを楽しめる果樹王国です。平山副団長も、初夏はさくらんぼ、冬はいちごを栽培しています。また、キッチンカーを所有しいちごのスイーツ販売も手掛けており6次産業化も推し進めています。平山副団長は平成29年に就任し、原田団長の元、安全安心なまちづくりのため尽力されています。消防操法の訓練では、団員一人一人にきめ細かな指導をし、安全確実な活動に繋がっております。
今後も、消防団活動同様、地域活性化のリーダーとして活躍を期待されています。



群馬県

前橋市消防団 13分団3部 団員

内山 大輔・明子

群馬県前橋市消防団からは、ご夫婦で消防団活動に励む内山(夫妻)団員をご紹介します。
ご夫婦で入団することとなったきっかけは妻の明子さん。育児等で忙しい毎日を送っている中、なにか地域貢献はできないかと考えていたときに、たまたまテレビで消防団の特集番組を目にし、「これなら地域貢献ができるのでは」と他市で消防団員経験があった夫の大輔さんに相談したところ「家事育児は2人で分担、協力すればできるからやりたいことをやろう」と背中を押してくれ、夫婦揃って入団を決意されました。
これからも、地域のため、子どもたちのために夫婦で力を合わせ消防団活動に励む内山団員のご活躍を期待しております。



茨城県

筑西市消防団 副団長

枝 孝弘

茨城県筑西市からは枝副団長を紹介します。
枝副団長は自動車整備士として「枝輪業商会」を営み、一年を通して多忙な日々を過ごしていますが、火災となれば誰より早く駆け付け、地元中隊の長として7個分団の指揮をとり、火災現場で奮闘しています。また、昨年11月には、消防団員として功績が称えられ、茨城県特別功績者表彰を授与されました。



働く姿は凛々しく、消火活動中は厳しい、そんな枝副団長ですが、私生活ではお孫さんをあやす可愛らしい一面もあります。

時には自動車整備士として、時には消防団員として、これからも市民の安心・安全を守り抜きます。

歴史と文化のまち「あしかが」を守るまちのヒーロー、足利市消防団からは、郷土愛の精神あふれる澤口大樹班長を紹介します。

地元の役に立ちたいという強い思いから、19年前に帰郷したのを機に入団しました。親しみ

やすい人柄と持ち前のリーダーシップを発揮し、先輩・後輩団員からの信頼も厚く、精力的に消防団活動に参加しています。また、市内の電気工事関係の会社に勤務する傍ら、トランペット奏者、吹奏楽団の指揮者として活動、更にはPTA会長、吹奏楽部外部講師、ホテルの保護活動を通じた小学生への環境教育に取り組む等、地域の発展と振興、子供たちの健全育成に多大な貢献をしています。今後も様々な分野での活躍が期待されます。



亀岡市消防団からは、吉川分団の藤田浩団員を紹介します。藤田さんは、平成3年から長きに渡り消防団活動に尽力されており、平成22年から平成28年までの6年間は、分団長を務められ、地域防災の要として精力的に活動されています。また、ポンプ操法大会にも4度出場しており、上位入賞を果たすなど、他の団員から一目置かれている存在です。

そんな熱い心を持った藤田さんは、人望も非常に厚く、現在、長年の消防団活動で得た知識と経験を活かし、後輩団員の育成に努められています。

お仕事は、タイルや外壁などの外構の工事業をされており、その知識は建物火災の危険予知などにも役立つとのことで、現場での火災防ぎよ、安全管理及び消防活動において、リーダーとして団員を引っ張っていただいています。

今後も、亀岡市の安全・安心のため、ますますのご活躍に期待しています。



ヤットサー！ヤットヤット！

鳴門市消防団からは、消防団歴43年の小林昭夫団員を紹介します。

小林団員は、阿波踊りささ連の5代目連長で、今も現役の踊り手として活躍しています。人生の大半を阿波踊りと共に歩んできており、毎年、阿波踊り本番を控えた夏季になると練習に打ち込み、それ以外の時間は体力維持のためにスポーツジムに通うなど、まさに阿波踊りに身を捧げております。

阿波踊り活動を通じて日頃より人と人とのつながりを大切にしながら地域住民との交流を深め地域防災の中核となる消防団員として、今後、更なる活躍が期待されます。

二拍子に舞う徳島の夏。ぜひ見に来てください。



消防団の広場

徳島県 「一人でも多くの命を守りたい」

鳴門市消防団
副団長

小黒 孝義



鳴門市は四国の東部に位置し、面積は135.66km²、人口約55,000人の町で、昔から製塩業で本市を支えてきましたが、近年では全国的ブランドのさつまいも（鳴門金時）や、鳴門海峡で育った鳴門わかめ・鳴門鯛などの特産品は全国的にも知られています。また、うず潮で名高い瀬戸内海国立公園「鳴門」を中心とする雄大な自然や、四国霊場の1番札所「霊山寺」、世界的に有名な「阿波おどり」など観光資源にめぐまれた、温暖で雨の少ない瀬戸内海型の非常に住みやすい町として発展しています。

鳴門市消防団は1本部、43分団で構成され団員数895人（令和5年2月1日現在）が市内で活動しています。

私が消防団に入団したきっかけは、地域で消防団員をしている方からの勧誘でした。25歳で初めた消防団活動も今年で35年目を迎えています。以前から出場したかった徳島県

消防操法大会の小型ポンプの部では、初めて指揮者として挑戦しました。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の消防団訓練もできていない中でしたが、出場した選手と一致団結し訓練に励みました。地域防災を担う者として、更なる士気の高揚につながるすばらしい経験を積むことができました。この経験を鳴門市の安心安全を守るための活動に活かしていきます。

近い将来起こるといわれている南海トラフ巨大地震。私はそのときに一人でも多くの命を守りたいという思いをずっと抱いています。しかし、全国的に消防団員は減少傾向にあり鳴門市も同様です。災害から家族や市民の生命と財産を守るためには、消防団員の人数確保が急務です。また、消防団活動は家族や周囲の人々の支えがあって行うことができるので、感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

災害はいつ発生するかわかりません。消防に対する市民の期待は一層増大しており、市民の生命・財産を守るといふ消防の任務はますます重要になってきております。

今後も、市民の負託に応えるために消防精神の高揚に努め、市民の安全確保のため一層精進していきます。



消防操法訓練の様子



徳島県消防操法大会

2023年度 全国統一防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

令和5年5月の日本消防協会関係行事

5月25日(木)・26日(金) 第25回全国女性消防操法大会 第1回審査員研修会

(兼 日本消防協会業務部研修会)

5月29日(月) 福祉共済事業等運営委員会、監事監査(日本消防協会・全日本消防人共済会)

※ 現時点での予定であり、状況により今後変更の場合があります。

編集後記

本号から、「日本消防」の編集を担当することになりましたT.M(栃木県から派遣)です。前任のT.K(大阪府から派遣)に引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

さて、風の薫る季節になり、また今年も旅立ちと出会いの時期となりました。読者のみなさんの生活にもそんな空気を感じる出来事はありましたでしょうか。

当協会でも、令和3年度に来られた7名と令和4年度に来られた1名の研修生が、それぞれの地元へと旅立っていきました。振り返ると、すべてがコロナ禍の大変な2年間を過ごされた先輩方なのだとしみじみと感じました。そんな中でも、ユーモアの溢れるメンバーに色々と本当に助けられました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

そして、この4月から新しく9名の研修生を迎え、それぞれが気持ちも新たに出発しました。少しでも早く、新しいメンバーとも慣れ、日本全国の消防団員、消防関係の皆様により良い情報をお届けできればと思っています。(T.M)

いよいよ、新年度の開始です。今月号では、恒例ではありますが、令和5年度事業計画を載せており、例年の各般の事業実施のほか、令和5年度は正に日本消防会館の建設を進めるとともに、日本消防防災情報センターの開設や完成後の記念イベント等について本格的準備を進める年度と位置づけられています。

また、全国消防団応援の店のこと、消防育英会の支援自動販売機のことについて、それぞれの現況をお知らせしています。多くのご協力を頂き、前者は5,100店舗と順調であり、後者は全国500台突破となっていますが、この機会に是非それぞれの趣旨や意義に理解を賜り、更なる登録及び設置のためご支援・ご協力を特にお願いたします。(Y.T)

お詫び

日本消防2023年3月号の表紙(内面)CONTENTS「消防団の広場」見出しの記載県名に誤りがありました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

正：福岡県 誤：福島県

購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,496円
(問合せ先) 総務部企画担当 03-6263-9401

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受け付けています。 kikou@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第七十六巻第四号
令和五年四月五日印刷
令和五年四月十日発行

編集人 田中 豊

発行所 (公財)日本消防協会

東京都港区東新橋一丁目十一番九

電話 〇三(03)九四〇一(代)

印刷所

東京都中央区銀座七丁目一六―二

株式会社アイネット

電話 〇三(03)五六〇〇

消防人の 火災共済

地震等災害見舞金 もあります

消防団員
消防職員
ならどなたでも
加入できます

掛金25口、2,500円 (56%以上の焼損)
火災共済金375万円のお支払い

1500倍補償

B型火災共済 **消防団
消防本部** 毎に皆で加入

掛金は、5口500円から5口毎、25口2,500円まで選択できます。

**落雷の損害
にも対応!!** 建物と動産の配分は常に4:1とする契約となります。

お申し込みは、所属の消防団担当から都道府県支部（消防協会）へ。



お支払
対象

- 火災共済金 火災・落雷・爆発・破裂
- 風水雪害等共済金 風災・水災・雪災・車両飛び込み・航空機墜落等
- 地震等災害見舞金 地震・津波・噴火

生活協同組合 全日本消防人共済会 TEL 03-6263-9822
詳しくはホームページをご覧ください <http://www.shouboujin.or.jp/>

消防団員・消防職員だからこそ加入できる

消防個人年金

積立金には予定利率（年1.25%）、配当率が適用されます。

老後生活に向けた
計画的な財産形成
が可能です。

月払の場合、
毎月一万円（ゆうちょ
銀行は五千円）から
ご加入いただけます。

給付金の受取りは、
年金（6種類）又は
一時金からご選択
いただけます。

途中で脱退しても、
積立金（脱退一時金）
が受け取れます。

税制適格コースは
個人年金保険料控除
自由選択コースは
一般の生命保険料控除
の対象となります。

消防団員、消防職員
の退団・退職後も
継続できます。

（パンフレット・加入申込書のお取り寄せ、お問い合わせ先）

公益財団法人 日本消防協会 年金共済部

0120-658-494 平日 9:00~17:00

お問い合わせ先

（公財）日本消防協会

〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19
ヤクルト本社ビル内
TEL.(03)6263-9401（代表）
<https://www.nissho.or.jp>

各市町村の消防事務担当者または消防本部消防団事務担当者、都道府県消防協会